



露光量違いの為重複撮影



露光量違いの為重複撮影



露光量違いの為重複撮影



- ▨ 洪積台地
- 沖積地及埋立地
- ▨ 火災区域
- ▨ 被害程度大ナル区域
- ▨ 被害程度小ナル区域
- 木造家屋
- 煉瓦造家屋
- 混成土造家屋
- 樹木
- 煙突
- ⌋ 崩壊
- ⌋ 石垣及土壇/崩壊
- ⌋ 土地/亀裂
- 縮尺三万分之一

露光量違いの為重複撮影

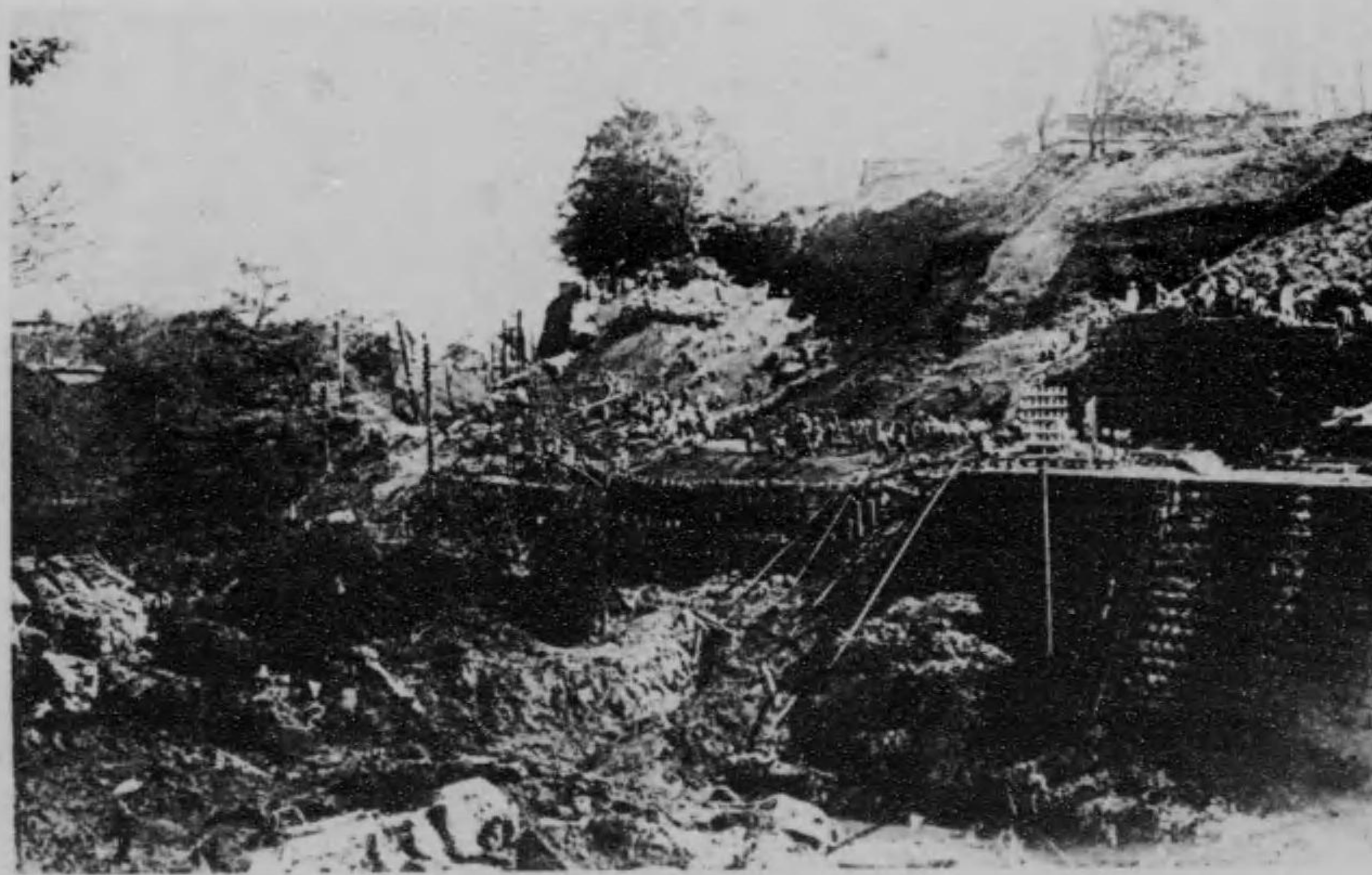


- 洪積台地
- 沖積地及埋立地
- 火災區域
- ▨ 被害程度大ノ区域
- ▩ 被害程度中ノ区域
- 木造家屋
- 煉瓦造家屋
- 距離100米線 → 街道方向
- ⊙ 樹木
- 堤突
- ⌒ 崖・瀉瀝
- ⌒ 石垣及土垣・崩壊
- 土地・電線
- 縮尺 三万分之一



側東口南路道旋凱

第  
二  
版  
土  
地  
ノ  
圖  
龜  
裂



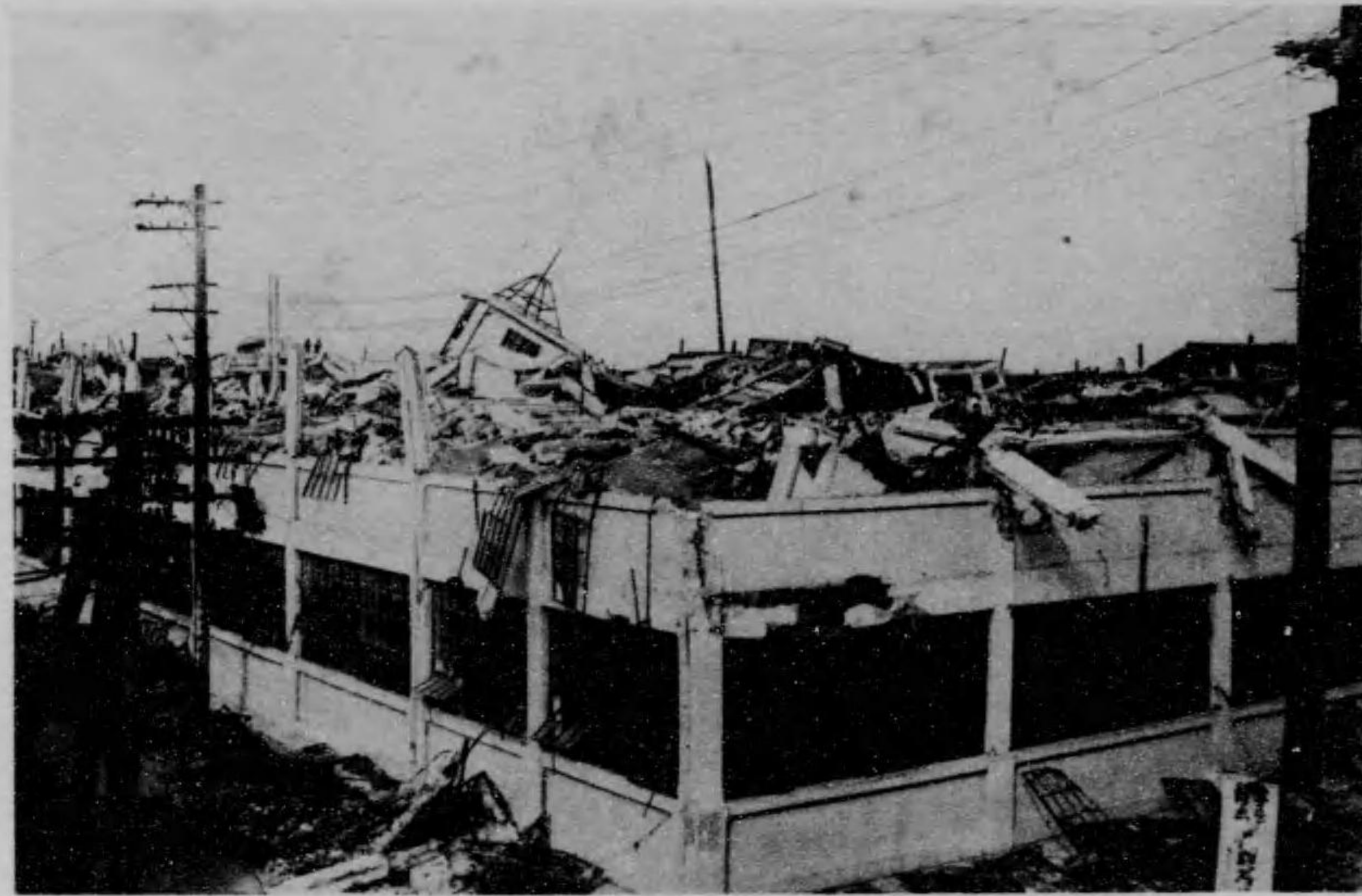
路線道鐵間橋道水橋水茶御

第  
二  
版  
土  
地  
ノ  
圖  
崩  
壞



第三版

混泥土造工場ノ全潰



芝區四町日本電氣株式會社

第二版

混泥土造建築物ノ全潰



丸ノ内内内ルビゲル

第一圖  
煉瓦造建物ノ大破



目黒臨時室素研究所

第二圖  
木造二階建家屋ノ全潰



小石川區香羽町九丁目十五番地

第三圖  
樹木ノ顛倒



四谷見附赤坂見附間外濠沿道ノ土手



東京最南部地震調査報文

東京最南部地震調査報文

目次

一 調査區域	一四一頁
二 地質	一四一頁
三 土地ノ龜裂	一四一頁
四 堤ノ崩壞及損傷	一四三頁
五 石垣ノ崩壞	一四三頁
六 家屋被害及死傷者	一四三頁
七 塀ノ破損	一四四頁
八 石碑ノ損傷	一四四頁
九 石燈籠ノ破損	一四五頁
十 煙突ノ損傷	一四五頁
十一 井水ノ變化	一四五頁

# 東京最南部地震調査報文

農商務技手 赤木 健

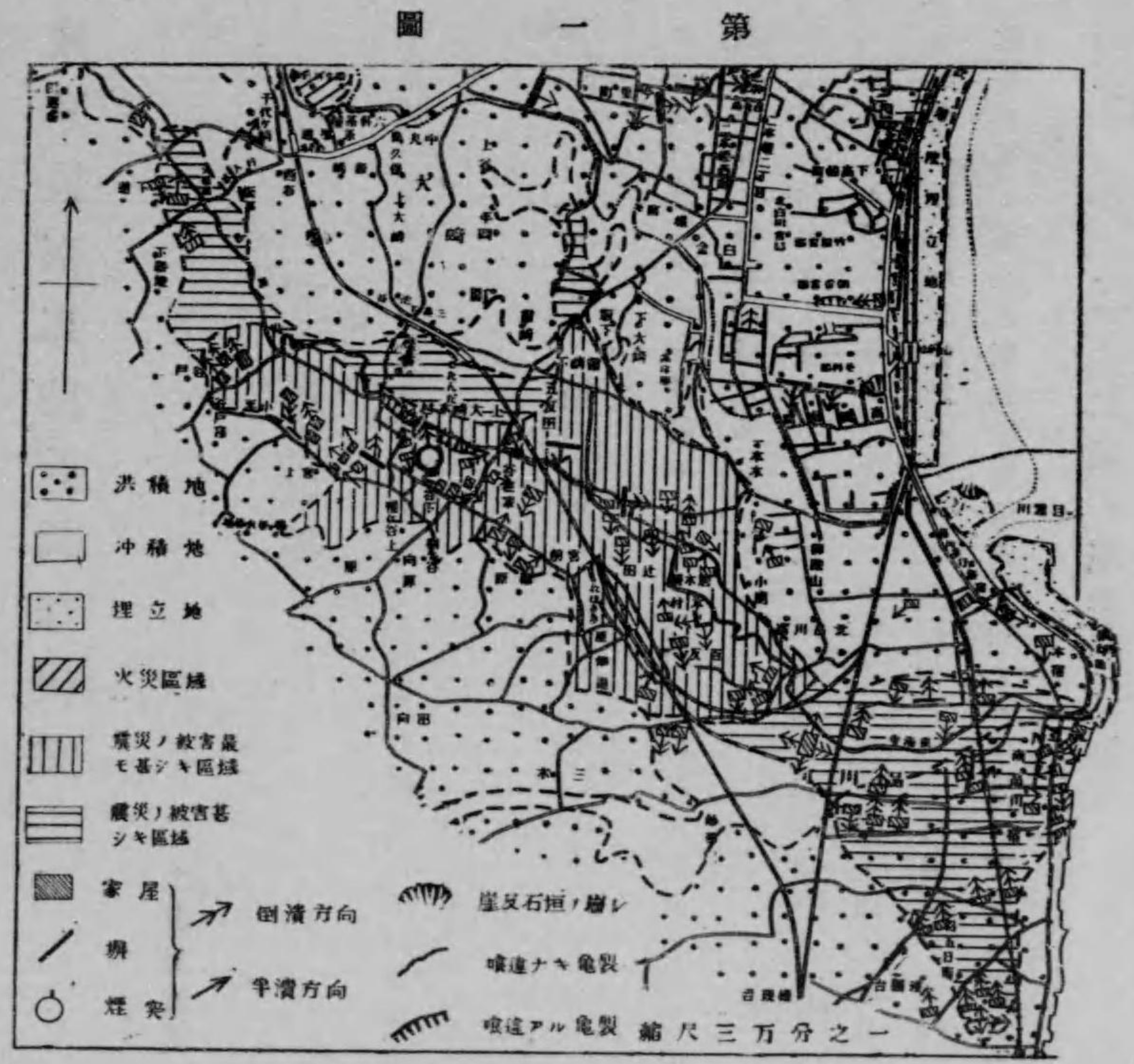
## 一 調査區域

本區域ハ芝區ノ南部及之ニ隣接セル三箇町即チ目黒町南部、大崎町、品川町ヲ含ミ東ハ品川灣ニ面ス

## 二 地質

本區域ハ洪積層及沖積層ヨリ成リ品川町北品川附近ニ洪積層ノ砂礫層ヲ露出スルノ外洪積臺地ニハ廣ク壙母層發達ス  
沖積層ハ粘土ヨリ成ルモノト埋立地及盛土地ニ屬スルモノトアリ、埋立地ハ品川灣沿岸地ニアリテ海底ノ砂土ニヨリ埋立ラレタルモノナリ、盛土地ハ目黒川ノ流域地及大崎町笹谷ニシテ元水田或ハ沼澤地ヲ壙母ニテ埋メタルモノナリ、目黒町下目黒ニ於テ尙蘆ノ生育シ土地濕潤ナル處殘存セリ、笹谷電氣試驗所構内ニ於テハ十米ノ下底ニ泥炭存在シ地盤軟弱ナリ

## 三 土地ノ龜裂



大崎町目黒川ノ流域ナル大崎橋、谷山橋附近ニ於テ三條乃至六條ノ龜裂存在シ方向ハ河岸ニ平行シ幅二糎乃至〇六米長サ最長一二〇米深サ〇三米乃至〇五米、河中ニ沁リ落チ落差〇三米餘ニ達スルモノアリ、而シテ龜裂ハ道路ニ沿ヒ河中ニ落チタルモ未タ崩壊スルニ至ラス

大崎町笹谷電気試験所ノ倉庫内ノ土間ニ南北ニ走ル龜裂三條アリテ延長二〇米、幅三糎餘ナリ

品川町歩行新宿ノ埋立地ニ於テ海岸ノ堤ニ平行スル二三條ノ龜裂アリ、北七〇度東ニ走リ延長約三〇米、幅二〇糎内外ニ

及ヘリ

#### 四 堤ノ崩壊及損傷

品川歩行新宿ノ埋立地ノ北岸及獵師町海岸ノ防波堤石垣ノ一部ニ崩壊セル處アリ、其水面ヨリノ高サ二五米、長サ四〇米ノモノ最大ニシテ何レモ海中ニ向テ崩ル

#### 五 石垣ノ崩壊

芝區高輪町朝香宮邸及毛利邸ノ南東端ノ石垣共ニ南方ニ崩壊シ其破損延長一五米乃至二〇米ニ及ヘリ

#### 六 家屋被害及死傷者

芝區 (本區域ハ此中ノ一部ニ過キス)		大崎町	品川町	目黒町
全燒戸數	一六四一四戸	五二戸	一戸	—
全潰戸數	九九二戸	一一〇戸	八九戸	四戸
半潰戸數	九六〇戸	一四六戸	二三八戸	一三戸
死傷者數	三六二名	—	五名	—
不明者數	五三四九名	—	二五名	—
行方不明者數	七二名	—	—	—

本區域ニ於ケル芝區ニテハ車町、高輪北町附近ニ被害甚シキ箇處アリ、車町八番地ニ於テ木骨石

造奥行一間半、間口二間ノ倉庫西方ニ五度傾斜シ土臺上約一米ノ間外壁ノ石材破損ス、石材ハ幅三〇糎、厚サ一〇糎、長サ七〇糎内外ナリ、高輪北町三四番地ニ於テ一棟六戸ノ長屋西方ニ一〇度乃至二五度傾斜シ辛ウシテ全潰ヲ免レタリ

高輪郵便局ハ煉瓦造二階建ニシテ其南東隅破壊ス

目黒、大崎及品川町ヲ流ル、目黒川ノ流域ハ沖積地ニシテ(盛土セラレタル處アリ)建築物ノ被害多ク就中大崎町谷山橋、桐谷及居木橋ノ南東部最モ甚シキヲ見ル、倒潰家屋中品川町東京市發電所、同町大龍寺本堂及鐘樓等其主ナルモノナリ、東京市發電所ハ煉瓦造ニシテ其倒潰ニ際シテ死者五名ヲ出シタリト云フ

大崎町衛生材料廠ノ建築物二六棟ハ地震後間モナク藥品室ヨリ發火シ殆ント全燒シ附近ノ住ニモ延燒セリ

### 七 塀ノ破損

塀ノ破損セシモノ芝區ニ於テ煉瓦造四箇處、石造三箇處アリテ何レモ外方ニ倒潰ス、毛利邸ノ南側ノ煉瓦塀長サ三五米南方ニ倒潰ス

大崎町ニ於テハ煉瓦造塀ノ破損セシモノ七箇處、品川町ニ於テハ主ナルモノ六箇處アリテ外方ニ倒潰セルモノ多シ

### 八 石碑ノ損傷

大崎町白金猿町最上寺境内ニ於ケル石碑ノ損傷ハ次ノ如シ

石碑總數七三、顛倒セルモノ六一、同轉移動セルモノ一一

顛倒方向東西一七、南北四四、同轉度數一〇度乃至六五度

移動距離三糎乃至五糎

品川町北品川五三、千人塚ハ高サ二六五米ニシテ北方ニ倒レ第一ノ臺石ハ十度内外左方ニ同轉ス

### 九 石燈籠ノ破損

石燈籠ハ石碑ト同シク多クハ顛倒ス、其方向ハ南、北及北西ヨリ南東ノモノ多シ、品川町海晏寺境内ニ在ルモノハ九割倒潰ス

### 十 煙突ノ損傷

大崎町谷山日東電氣株式會社ノ煉瓦造煙突下部ヨリ三分ノ二ノ箇處ニ於テ挫折シ北西方ニ倒潰シ其際木造平家建十坪ノ室ヲ壓潰シタリ

品川町北品川白煉瓦製造所ノ煉瓦造煙突二基上部ヲ破損シ且ツ縦ニ處々ニ龜裂ヲ生シタリ、鐵輪アル爲ニ辛ウシテ倒潰ヲ免レタルカ如シ

### 十一 井水ノ變化

東京府北部地震調査報文

井水ハ震災當時一時濁リタルモ數日ニシテ清澄トナレリト云フ

東京府北部地震調査報告

東京府北部地震調査報文

目次

一 地質.....	一四七頁
二 土地ノ龜裂.....	一四八頁
三 堤防ノ被害.....	一四九頁
四 家屋ノ被害.....	一四九頁
五 煙突ノ被害.....	一六〇頁
六 水槽ノ顛倒.....	一六〇頁
七 銅像ノ被害.....	一六〇頁
八 鳥居ノ顛倒.....	一六一頁
九 墓碑ノ顛倒.....	一六一頁
十 井水ノ變化.....	一六一頁
十一 玉川上水路.....	一六二頁

欠



# 欠

尺、長サ十間ニシテ入間郡植木村ノ古川沿岸ニアルモノハ開口ノ幅四尺、深サ二尺ニ達セリ、荒川沿岸ノ龜裂ハ之ヲ第一圖及第二圖ニ示セリ

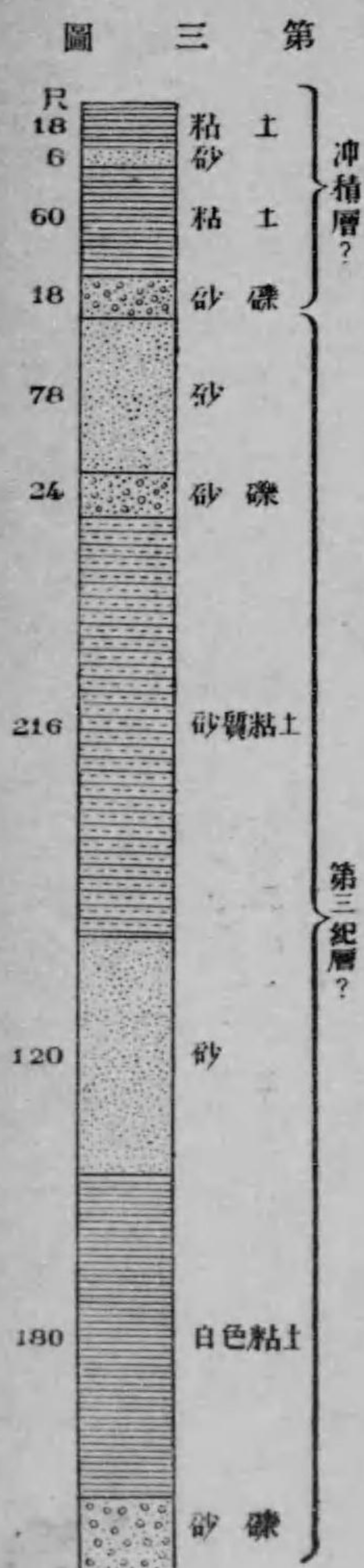
### 三 堤防ノ被害

赤羽ノ北東ナル荒川沿岸ノ堤防ニハ龜裂約十條ヲ生シ何レモ堤防ニ平行シ最モ大ナルハ開口ノ幅一尺、落差二尺、長サ十間ナリ(第二圖參照)調布町ノ多摩川沿岸ナル堤防ハ三箇處崩壊シ、崩壊箇處ノ總延長ハ四百七十間ナリ、堤防ハ其高サ二間、上部ノ幅二間、下部ノ幅約五間ナリ

### 四 家屋ノ被害

家屋ノ被害著シキハ荒川及多摩川沿岸ニシテ臺地ノ中央部ニ於テハ被害極メテ僅少ナリ  
荒川沿岸

岩淵町 沖積低地及洪積臺地ヨリ成リ、赤羽ノ東部ナル沖積地ノ地質左ノ如シ(第二圖參照)

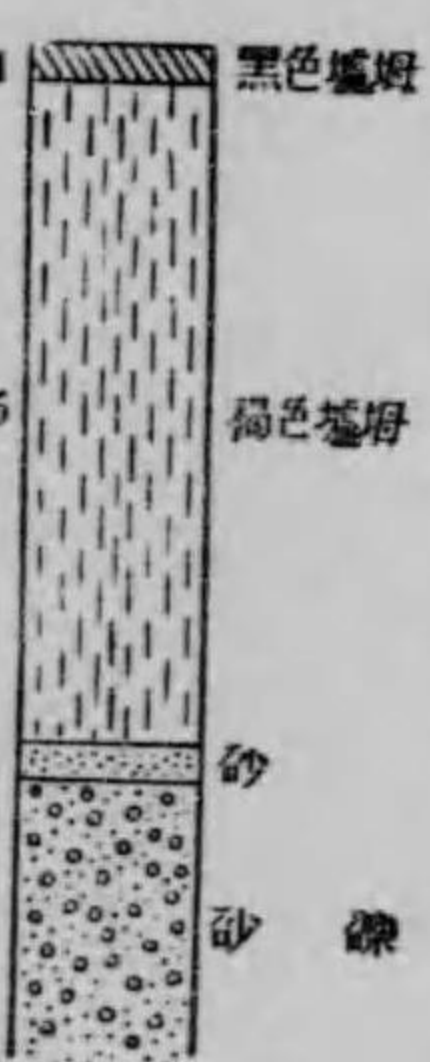




殆ントナシ

志木町 大部分臺地上ニアリテ臺地ノ地質ハ第八圖ノ如シ

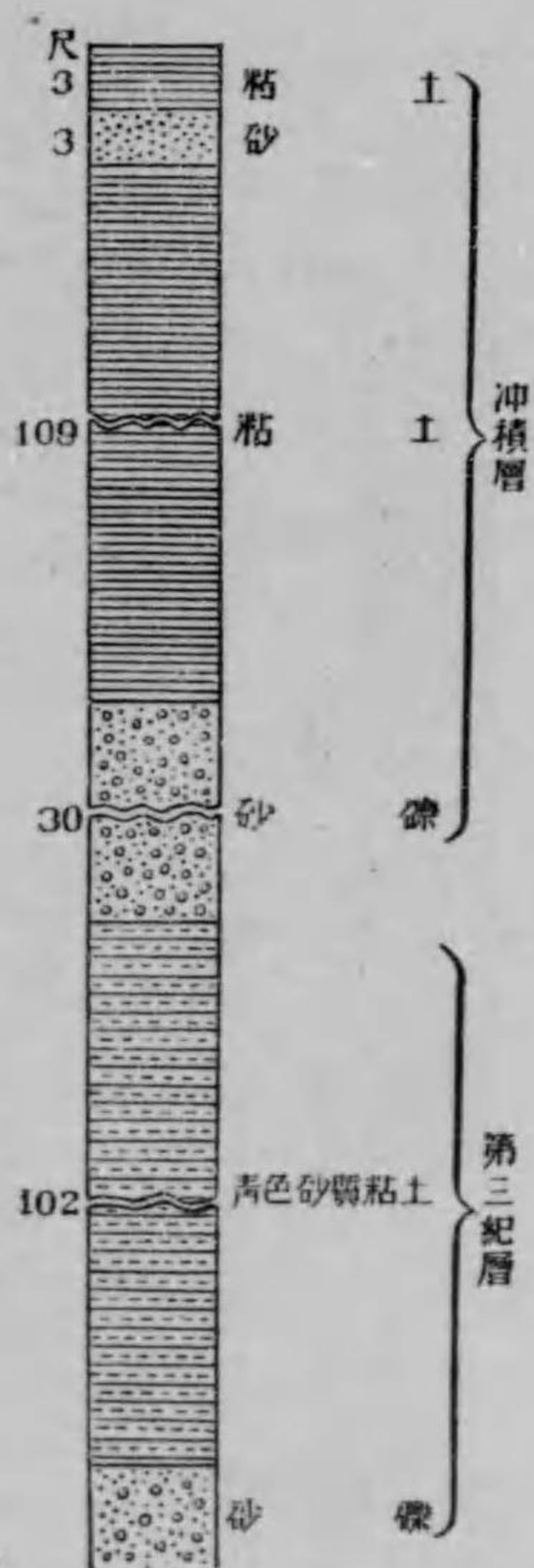
圖八第



臺地上ニハ倒潰家屋ナク、家屋内ノ壁ハ龜裂ヲ生セシノミニシテ剝落セルモノナク、瓦ノ落下著シカラスシテ煉瓦塀ノ倒壊セルモノナシ、冲積地ニ於テハ全潰住宅一戸、半潰住宅一戸アリテ全潰住宅ハ木造

平屋草葺ニシテ倒潰方向ハ西ナリ  
宗岡村 全部冲積地ニシテ其地質ハ第九圖ノ如シ

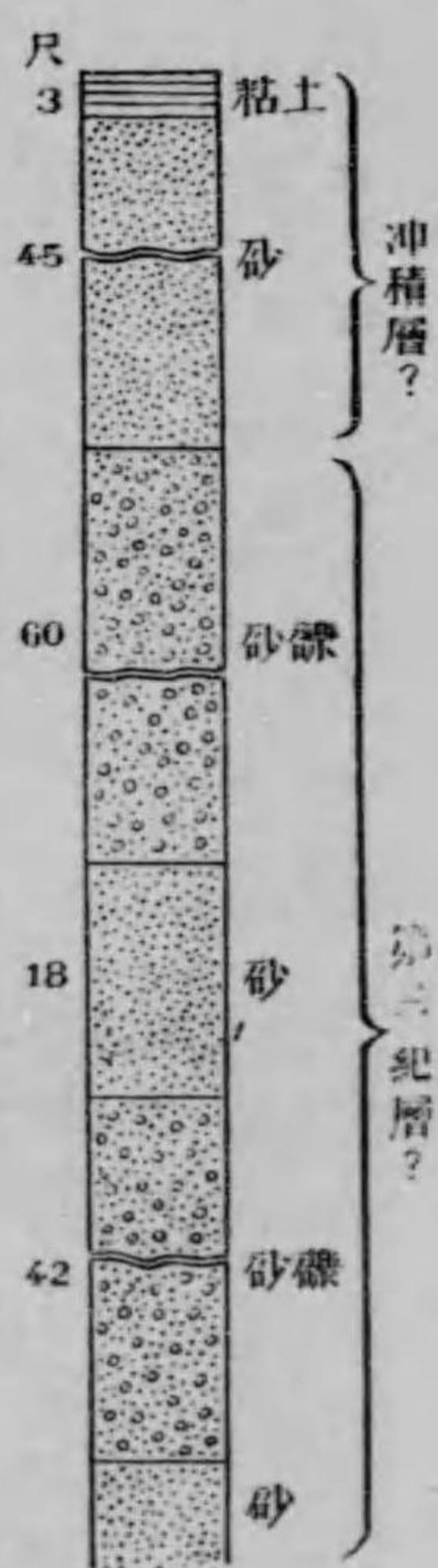
圖九第



全戸數三九八戸ノ中全潰住宅二九戸、非住宅二〇戸、半潰住宅一九戸、非住宅一七戸ニシテ倒潰率二一・三六%、全潰率一・二三一%ナリ、全潰住宅ハ南界驛一戸、北美町九戸、下蓮田二戸、蓮田一戸、佃一戸、落合一戸、新田一戸、琵琶一戸、五位戸一戸、三貫田一戸ニシテ南界驛及北美町ニ最モ多シ、全潰

宅ハ瓦葺一戸ヲ除キ他ハ何レモ木造平家草葺ニシテ建築後三十年以上ヲ經タルモノナリ、倒潰方向ハ北東ノモノ多シ  
南古谷村 全部冲積地ニアリテ其地質ハ第十圖ニ示スカ如シ

圖十第



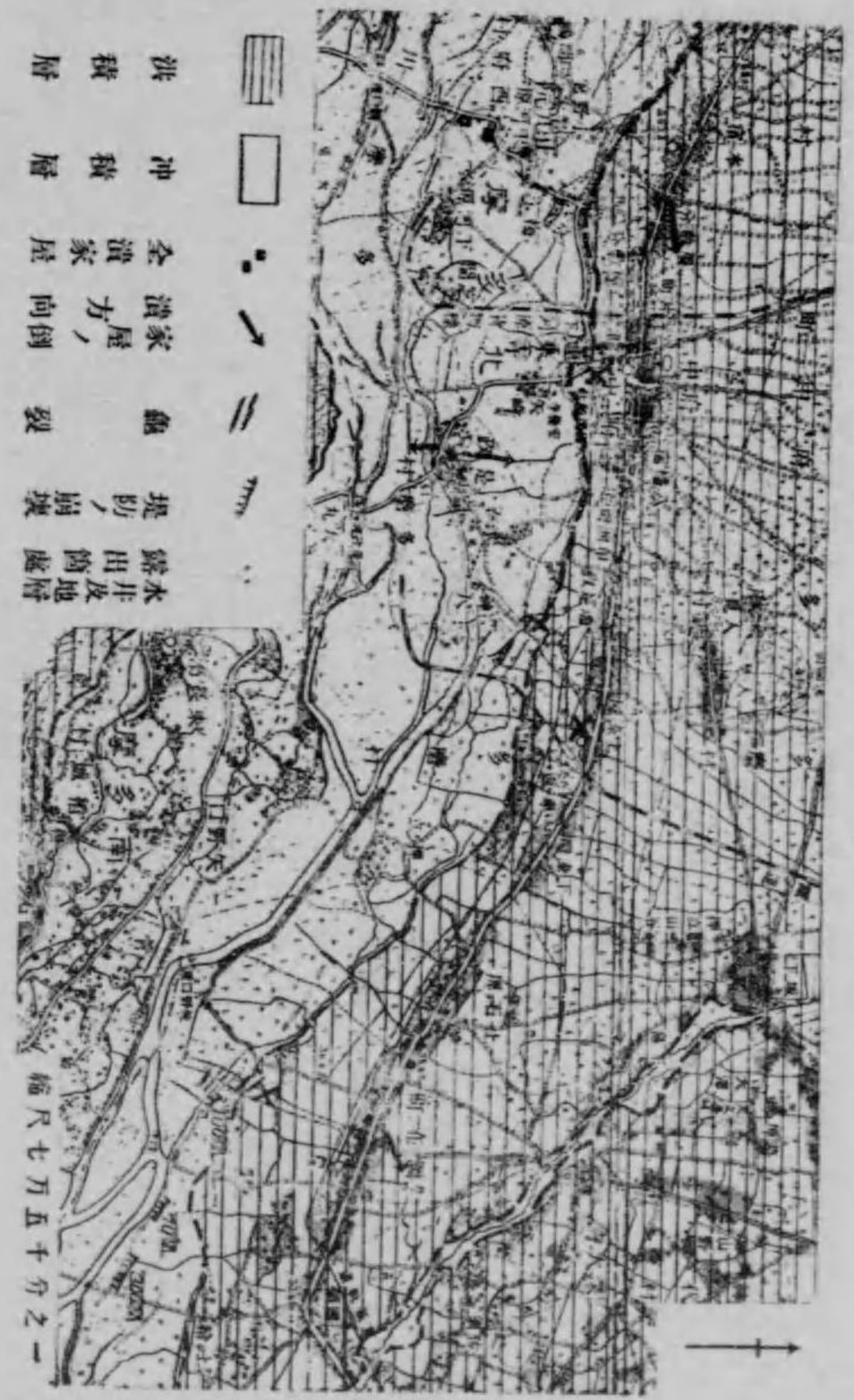
全戸數六七〇戸ノ中全潰住宅八戸、土藏八棟、物置六棟、半潰住宅七戸、土藏四〇棟、物置一七棟ニシテ倒潰率一・七九%、全潰率三・二八%ナリ、全潰住宅ハ澁井五戸、久下戸二戸、並木一戸ニシテ何レモ木造平家草葺ノ三十年以上ヲ經タルモノナリ、倒潰方向ハ南多シ  
川越市 洪積臺地及冲積低地ヨリ成リ臺地上ノ塘垣層ハ其厚サ八尺乃至二十五尺ニシテ冲積地ナル神明町ニ於テハ表土及粘土ハ其厚サ約三十六尺ナリ

全戸數五六二五戸ノ中全潰住宅二〇戸、非住宅二三戸、半潰住宅二一戸、非住宅一〇戸ニシテ倒潰率一・三二%、全潰率〇・七六%ナリ、被害多キハ冲積地ナル神明町、宮本町、杉下町ニシテ全潰住宅ハ神明町一戸、宮本町一戸、杉下町一戸ナリ、何レモ木造平家ノ二十年内外ヲ經タルモノニシテ倒潰方向ハ北多シ

冲積地ノ被害ヲ略言スレハ岩淵町及宗岡村ノ如ク粘土層ノ厚キ地方ニ被害多ク、南古谷村ノ如

キ粘土層薄ク砂礫層厚キ地方ハ前者ヨリ被害少ナシ、荒川及其支流沿岸ノ冲積地多キ各村ニ於ケル被害状況ヲ表示スレハ左ノ如シ

圖 一 十 第



町	村	名	全戸數	全潰住宅	半潰住宅	倒潰率	全潰率	場	所
東京府北豊島郡	赤塚村		八四〇	四	一	〇・七一%	〇・七一%	荒川中流沿岸	
埼玉縣北足立郡	新倉村		二八二	一	四	二・一三%	〇・三五%	同	

町	村	名	全戸數	全潰住宅	半潰住宅	倒潰率	全潰率	場	所
同	同	内間木村	三九〇	三七	五	一〇・五一%	七・二五%	同	上流沿岸
同	同	南畑村	五五四	八二	二	一六・九七%	一四・九八%	同	同
同	同	古谷村	七六六	四四	三	一〇・一八%	五・七四%	同	同
同	同	植木村	一八七	二七	一	二〇・八五%	一四・四三%	同	同
同	同	芳野村	五一三	四三	一	一七・一五%	八・三八%	同	入間川沿岸
同	同	山田村	四六九	三九	一	一八・五%	八・三二%	同	同
同	同	三芳野村	五二四	七	一	一・二五%	一・三三%	同	越邊川沿岸
同	同	勝呂村	五七二	二四	七	二・六七%	一・三三%	同	同
同	同	名細村	六七五	一三	一	五・〇七%	四・二〇%	同	同
同	同	田面澤村	五〇四	一三	一	二・六七%	一・九三%	同	入間川沿岸
同	同	同	同	同	同	三・五七%	二・五八%	同	同

多摩川沿岸 (第十一圖参照)

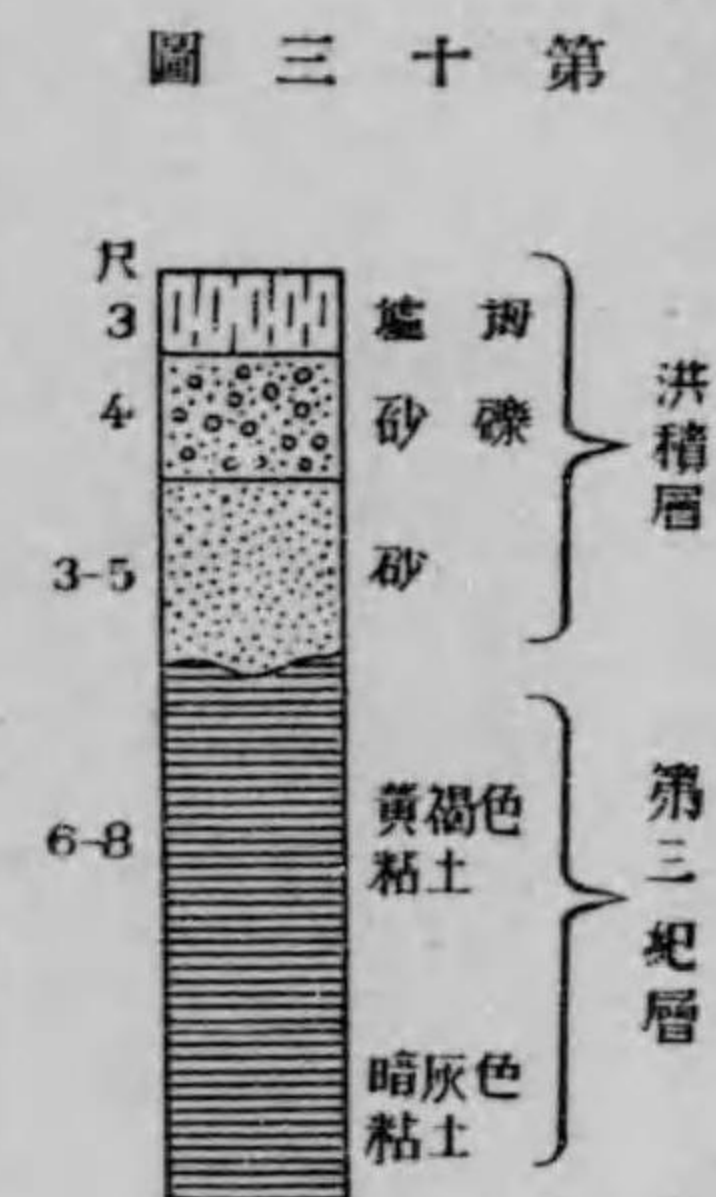
調布町 冲積地及洪積地ヨリ成リ洪積地ノ地質ハ第十二圖ニ示スカ如シ



全戸數七九九戸ノ中全潰住宅七戸、土藏九棟、納屋六棟、半潰住宅一戸、土藏一一棟、納屋一二棟ニシテ倒潰率一五・五一%、全潰率二・七五%ナリ、全潰住宅ハ何レモ洪積臺地上ニアリテ主ニ木造平家草葺ニシテ三十年以上ヲ經タルモノ多ク、

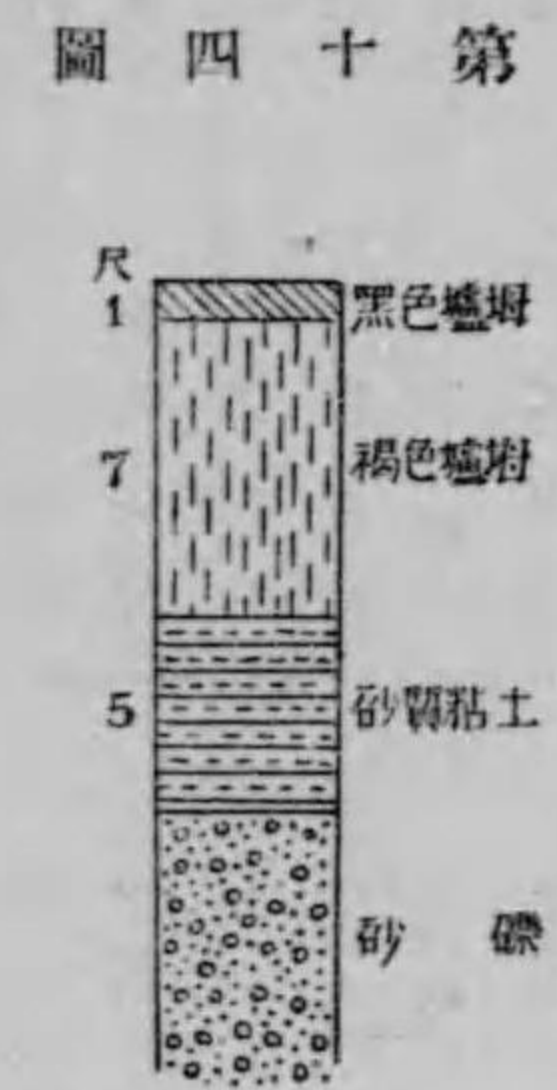
只開國館ハ木造二階建瓦葺ニシテ五年前建築セルモノナレトモ北東方ニ全潰セリ、間口九間二尺、奥行十間ニシテ該家屋ニ連續セル木造平家亞鉛葺ノモノハ倒潰セス、  
冲積地上ノ家屋ハ木造平家亞鉛葺ニシテ建築後四年内外ノモノ多ク倒潰セルモノナシ、斯ク被

害少ナキハ恐ラタ家屋ノ新シキニ基因スルモノナルヘシ  
多摩村 洪積地及沖積地ヨリ成リ臺地ノ周縁部ニ於ケル地質ハ第十三圖ニ示スカ如シ



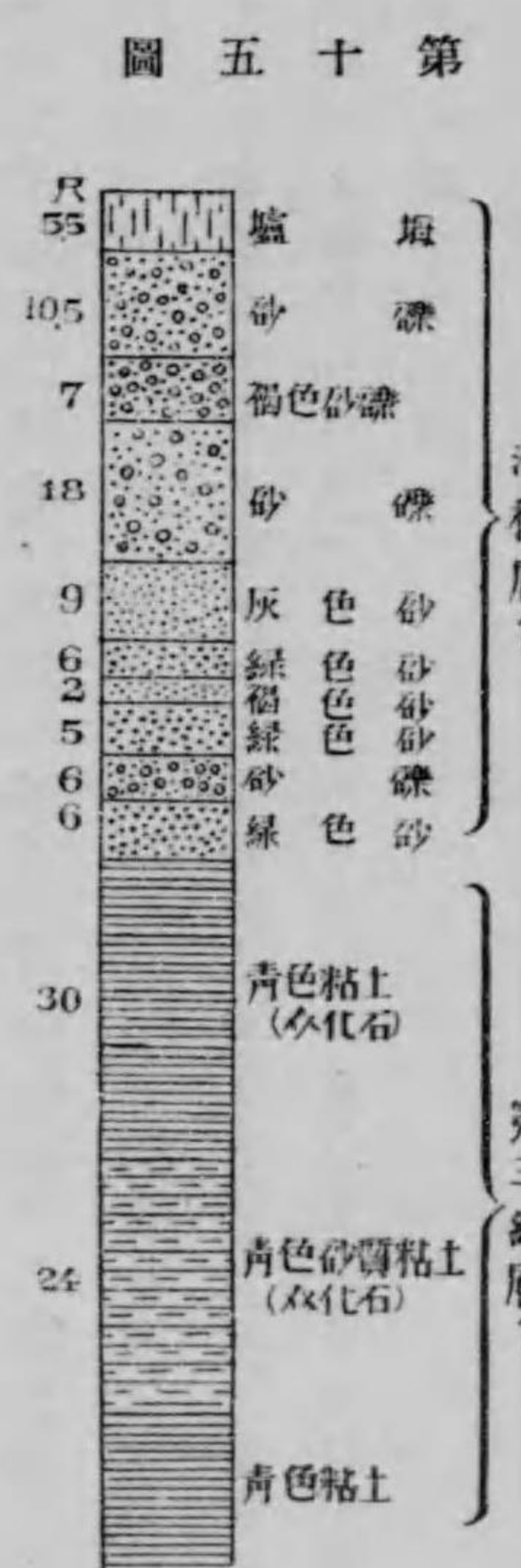
沖積地ニアリテ是政二戸、押立一戸ニシテ、木造平家草葺三十年以上ノモノニシテ倒潰方向ハ北南及北西ナリ

臺地上ニハ被害少ナク瓦ノ落下、壁ノ剝落共ニ著シカラス  
府中町 洪積地及沖積地ヨリ成リ洪積地ノ地質ハ第十四圖ニ示スカ如シ



全戸數一二〇〇戸ノ中全潰住宅四戸、寺院一棟、土藏二七棟、物置一戸、半潰住宅一戸、土藏七九棟ニシテ倒潰率一〇二五%、全潰率三五八%ナリ、全潰住宅ハ臺地ノ周縁部ニアリテ土藏造二階建亞鉛葺ノモノ多ク建築後十五年内外ナリ、倒潰方向ハ北多シ、全潰セル運乗寺本堂ハ木造三間四方ニシテ建築後七十年以上ノモノナリ

沖積地ニハ全潰住宅ナク被害少ナシ  
西府村 洪積地及沖積地ヨリ成リ、洪積地ノ墟垣層ハ其厚サ八尺乃至十二尺ナリ  
全戸數三四七戸ノ中全潰住宅四戸、土藏及倉庫一四棟、納屋八棟、半潰住宅四戸、倉庫及土藏一〇棟、寺院一棟、納屋八棟ニシテ倒潰率一四一二%、全潰率七四九%ナリ、臺地上ニ於テハ木造平家ニシテ建築後十年ノ住宅一戸全潰シ、九間ニ七間ノ木造倉庫ニシテ建築後二十五年ノモノ及六間ニ十間ノ木造倉庫ニシテ建築後百年ノモノ等全潰シ倒潰方向ハ東多シ、沖積地ニ於テハ中河原ニ木造平家草葺ニシテ二十年以上ノ住宅二戸全潰シ、小野宮ニ木造平家草葺ニシテ二十年以上ノ住宅一戸全潰シ、五間ニ六間ノ正光院木造本堂半潰セリ  
立川町 大部分洪積地ニシテ立川飛行場ノ地質ハ第十五圖ニ示スカ如シ



多摩川沿岸ノ被害ヲ略言スレハ洪積臺地ノ周縁部ハ被害稍大ニシテ沖積地ハ荒川沿岸ノ沖積地ヨリ被害少ナシ、臺地ノ周縁部ノ被害稍大ナルハ墟垣層ノ薄キト其下部ノ砂礫層中ニ夾雜セル礫ノ大ナルニ基因スルモノナルヘク、沖積地ノ被害少ナキハ粘土層薄クシテ砂礫層厚キニ基

因スルモノナルヘシ  
 洪積臺地上ハ一般ニ被害少ナキモ盛土箇處ニ於テハ被害著シ、即チ東京府北多摩郡千歳村ニテハ全戸數六七〇戸ノ中全潰住宅一戸、非住宅六〇戸、半潰住宅九三戸、非住宅一九一戸ニシテ倒潰率五二・九九%、全潰率一〇・五九%ナリ、同村中特ニ被害多キハ烏山ニシテ該處ノ水準面ハ地下五尺内外ナルヲ以テ壩母層ノ腐植部厚クシテ文化村附近ニハ盛土箇處アリ、文化村ハ木造二階建ニシテ建築後二年ヲ經タル住宅約四十戸アリテ殆ント全部半潰又ハ大破セリ  
 各郡役所ノ統計ニヨレハ次表ニ示スカ如ク臺地上ノ各町村ニ於ケル被害極メテ少ナキヲ以テ調査セス、統計左ノ如シ

町村名	全戸數	全潰住宅	半潰住宅	倒潰率	全潰率	場所
東京府北多摩郡 上板橋村	六二四	四	一	〇・六四%	〇・六四%	荒川沿岸
同 下練馬村	一〇二四	一	一	〇・二〇%	〇・二〇%	同
同 上練馬村	七一〇	二	九	一・五五%	〇・二八%	同
同 埼玉縣北足立郡 白子村	四八三	二	一	〇・四一%	〇・四一%	同
同 入間郡 膝折村	七七一	二	一	〇・二六%	〇・二六%	同
同 入間郡 鶴瀬村	四八六	二	一	〇・四一%	〇・四一%	同
東京府北多摩郡 神代村	五八五	五	三	一・三七%	〇・四五%	多摩川沿岸
同 小金井村	六〇五	六	一	一・八二%	〇・九九%	同
同 國分寺村	八〇八	四	一	〇・五〇%	〇・五〇%	同
同 豊多摩郡 中野町	六六五	一四	一	〇・三八%	〇・二二%	東京近郊
同 野方村	一四八二	一七	五	一・四八%	一・一五%	同

町村名	全戸數	全潰住宅	半潰住宅	倒潰率	全潰率	場所
同 和田堀内村	六五〇	一〇	二四	一・五二%	一・五四%	同
同 杉並村	一八〇〇	一〇	三九	二・七二%	〇・五六%	同
同 井荻村	八五〇	二	一七	二・二四%	〇・二四%	同
同 高井戸村	六八〇	六	二二	四・一二%	〇・八八%	同
同 北豊島郡 中新井村	三八七	一	一	〇・二八%	〇・二二%	同
同 埼玉縣北足立郡 片山村	四五六	一	一	〇・四四%	〇・二二%	同
同 入間郡 吾妻村	四六二	一	一	〇・二二%	〇・二二%	同
同 東金子村	四八一	五	一	一・〇四%	一・〇四%	同
同 大家村	五六四	二	一	〇・三五%	〇・三五%	同
同 鶴ヶ島村	七三九	五	一	二・五七%	〇・六八%	同
同 精明村	五七八	一	一	一・二一%	一・二一%	同
東京府北多摩郡 中神村組合	六三八	一	一	〇・一六%	〇・一六%	同
同 東村山村	一二四〇	八	七	一・二一%	〇・六五%	同
同 小平村	九三二	一	一	〇・一一%	〇・一一%	同
同 武蔵野村	九七五	四	一	〇・五一%	〇・四一%	同
同 西多摩郡 福生組合	八六六	一	一	一・三三%	一・三三%	同

納屋及木造倉庫ニノミ被害アリテ住宅ノ倒潰セルモノ全ク無キ町村名ヲ擧クレハ左ノ如シ  
 東京府北豊島郡大泉村、石神井村、北多摩郡拜島村、久留米村、保谷村、砂川村、大和村、立川村、村山村、三鷹村、清瀬村、田無町、西多摩郡箱根ヶ崎組合、青梅町、西多摩郡霞村、埼玉縣北足立郡大和田町、入間郡豊岡町、入間村、高萩村、水富村、高階村、福岡村、大井村、水谷村、三芳村、柳瀬村、松井村、富岡村、所澤町、山口村、小手指村、三ヶ島村、元狭山村、宮寺村、金子村、藤澤村、堀兼村、福原村、奥富村、入間川町、日東村、大田村、

坂戸町、高麗川村、霞、關村、元加治村、加治村、飯能町  
 青梅町、青梅ニ於テハ土藏ノ壁剝落セルモ家屋内ノ壁ノ被害及屋根瓦ノ落下殆ントナク倒潰家  
 屋ナシ、所澤町所澤ハ被害程度青梅ヨリ稍大ニシテ屋根瓦ノ落下多少アレトモ倒潰家屋ナシ

### 五 煙突ノ被害

沖積地及臺地ノ周縁部ノ鐵筋混凝土造煙突一本、煉瓦造ノモノ約四本倒壊セリ  
 鐵筋混凝土「プロク」造ノモノハ赤羽製麻會社ニアリテ「プロク」ノ厚サ五寸、直徑六分ノ鐵筋三十六  
 本入、最下部ノ周圍二十六尺、高サ百二十尺、挫折箇處下ヨリ九十尺及四十尺、顛倒方向上部ハ北七  
 十度東、下部ハ南四十五度西ナリ  
 煉瓦造ニシテ上部ノ崩壊セルモノハ川越市ニ二本、北多摩郡中神西川製絲場ニ一本、西多摩郡西  
 多摩村小作附近下田製絲場ニ一本アリ、西川製絲場ノモノハ高サ八十尺ニシテ上部ヨリ十二尺  
 ノ箇處ヨリ東方ニ崩壊セリ、其他ノモノハ倒壊方向不明ナリ

### 六 水槽ノ顛倒

北多摩郡千歲村烏山文化村ノ盛土箇處ニ於テハ混凝土造水槽二個顛倒セリ、高サ三十尺、直徑六  
 尺、顛倒方向南十度東及東ナリ

### 七 銅像ノ被害

赤羽正光寺内ノ四ツ木觀音像ハ頭部ノミ北西方ニ顛落セリ、臺ノ高サ十七尺、像ノ高サ十八尺ニ  
 シテ頭部ノ高サハ三尺ナリ

### 八 鳥居ノ顛倒

木造ノモノハ被害ナク石造ノモノハ多摩川沿岸ニ於テ顛倒セルモノアリ、一般ニ調布以東ニ於  
 テハ東西ニ面スルモノ被害少ナク、南北ニ面スルモノ顛倒セリ、調布以西ニ於テハ之ト反對ノ現  
 象アリ

### 九 墓碑ノ顛倒

調査區域内ノ墓碑ハ高サ四尺以下ノモノ多キヲ以テ殆ント全部顛倒セルモ巡回當時ハ既ニ舊  
 態ニ復セルヲ以テ其顛倒率及方向ニ就キ調査スル能ハサリキ

### 十 井水ノ變化

調査區域全般ニ互リ多少混濁セルモ四日乃至七日ニシテ復舊セリ

### 十一 玉川上水路

水源及水路 玉川上水ハ多摩川ノ水ヲ東京府西多摩郡西多摩村羽村ニ於テ取入レ、取入口ヨリ約十里ノ間ハ開渠ヲ以テ、淀橋淨水所ニ近キ約三十三町ノ間ハ築堤上ニ混凝土ノ樋ヲ布設シテ導水ス、即チ水路ノ延長ハ約十一里ナリ、羽村取入口ヨリ水路ニ沿ヒ羽村、熊川、砂川、小川、境、久我山及和田堀ノ七水衛所ヲ設ケ其相互間ノ距離ハ一里半乃至二里ナリ(第十六圖參照)

水路ノ構造 開渠ハ其幅平均十尺、水面上ノ深サ平均五尺ニシテ羽村、熊川兩水衛所間ハ多摩川沿岸ノ砂礫層ヲ掘鑿シ左ノ三種ノ護岸法ヲ施セリ

一、玉石又ハ土砂ヲ以テ護岸シ其表面ニ更ニ玉石ヲ漆喰ニテ膠著セル所謂「目詰」ト稱スル護岸法ヲ施セルモノ

二、厚サ五寸乃至六寸ニ混凝土ヲ以テ護岸セルモノ

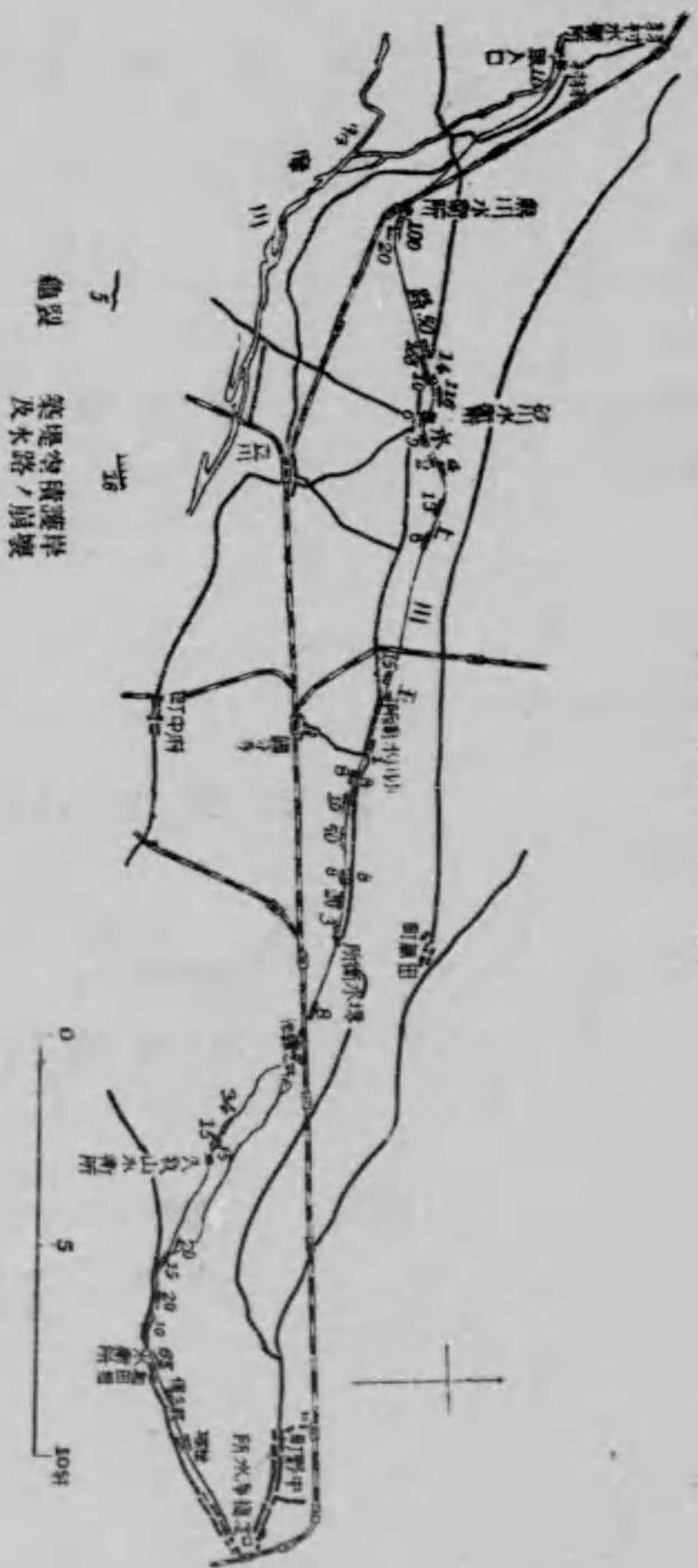
三、厚サ一尺乃至二尺ニ混凝土ヲ以テ護岸シ其表面ニ玉石ヲ漆喰ニテ膠著セル所謂「煉積」ナル護岸法ヲ施セルモノ

熊川、砂川兩水衛所間ハ壩垣層ヲ掘鑿シ膏テ洪水等ノ爲メ崩壞セル箇處多シ、該處ニハ玉石ヲ積上ケタル所謂「空積」ナル護岸法ヲ施セリ

砂川、小川兩水衛所間ハ壩垣層ヲ掘鑿シ護岸ヲ施サ、ル箇處多シ、小川、境兩水衛所間ハ壩垣層ヲ掘鑿シ「空積」ノ護岸ヲ施セル箇處多シ

境、和田堀兩水衛所間ハ壩垣層ヲ掘鑿シ護岸ヲ施サ、ル箇處多シ  
築堤ハ其高サ六尺乃至三十二尺ニシテ普通ハ十五尺内外ナリ、上部ノ幅ハ三十三尺ニシテ兩側

圖 六 十 第

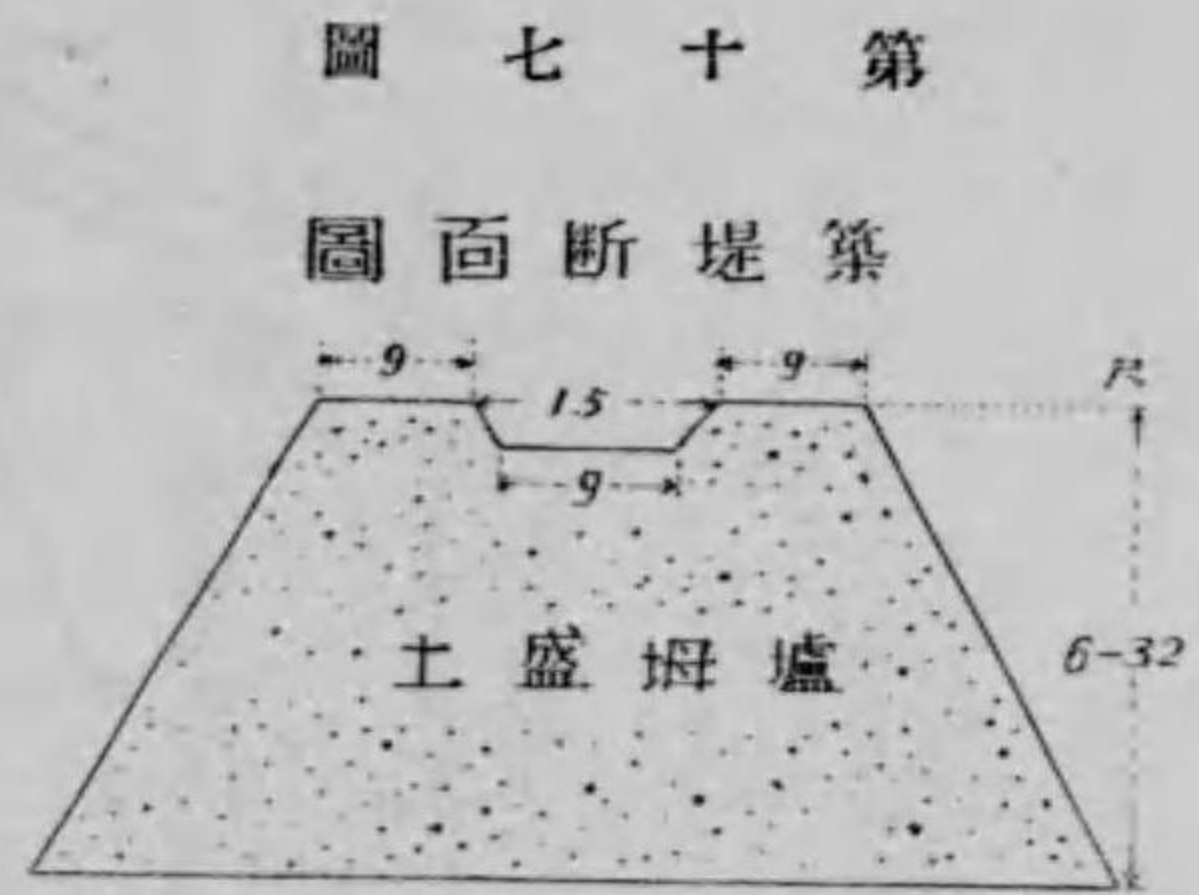


(數字ハ間ヲ以テ示ス)

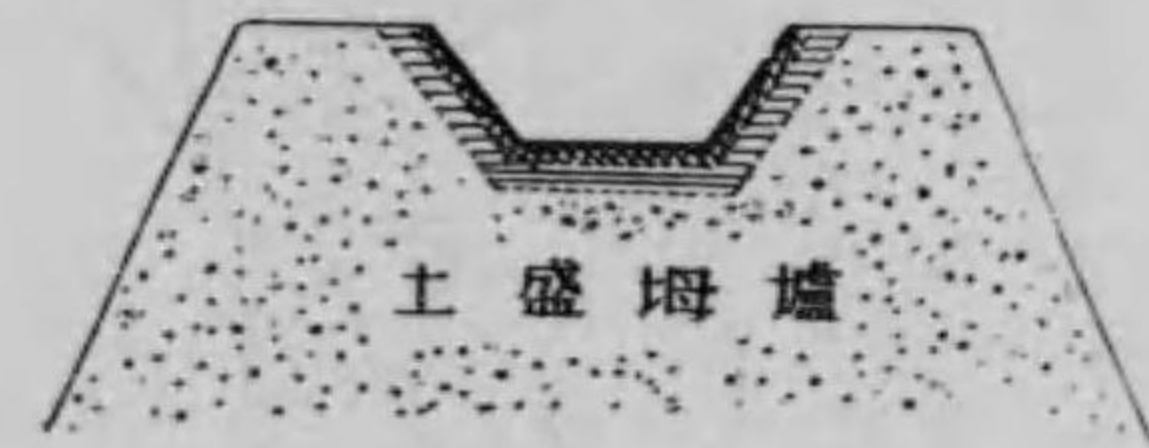
ノ傾斜ハ三十度乃至四十五度ナリ、築堤上ニ布設セル混凝土ノ樋ハ上部ノ幅十五尺、底部ノ幅九尺、深サ五尺五寸ニシテ水深ハ普通四尺五寸ナリ



築堤及水路ノ断面圖ハ第十七圖ノ如シ



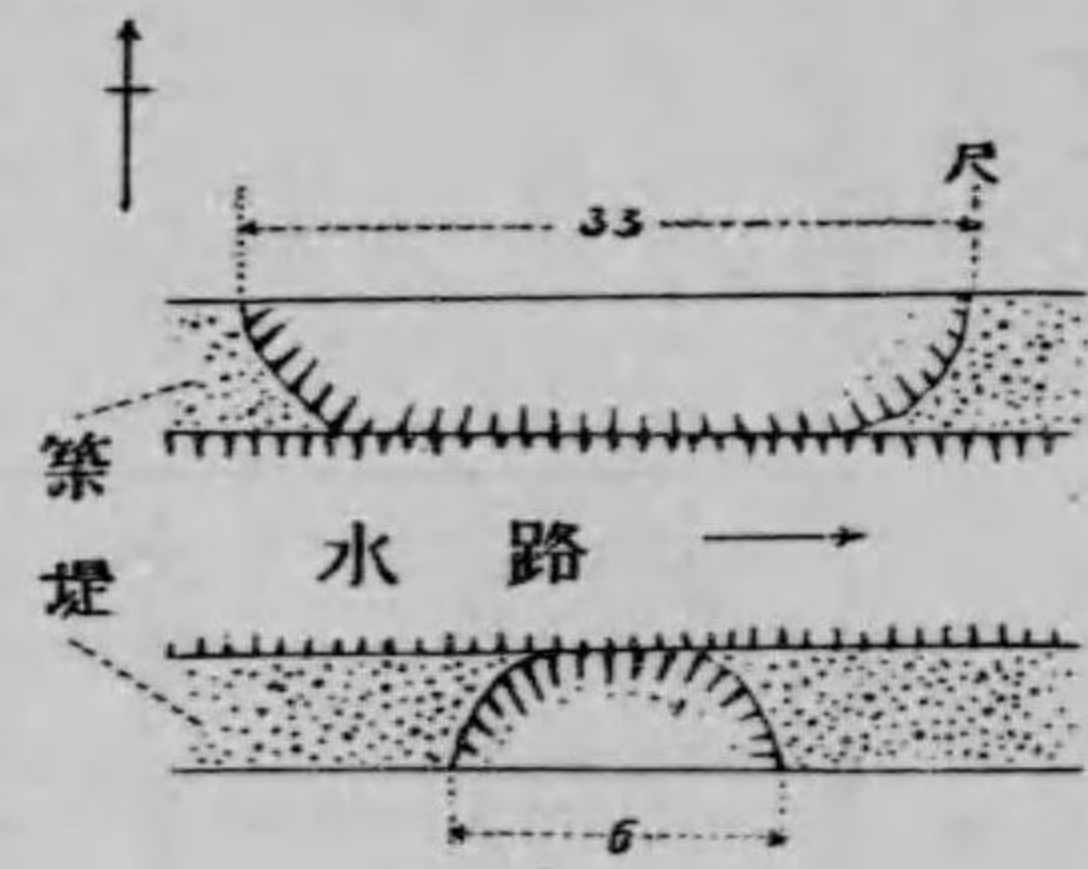
水路断面圖



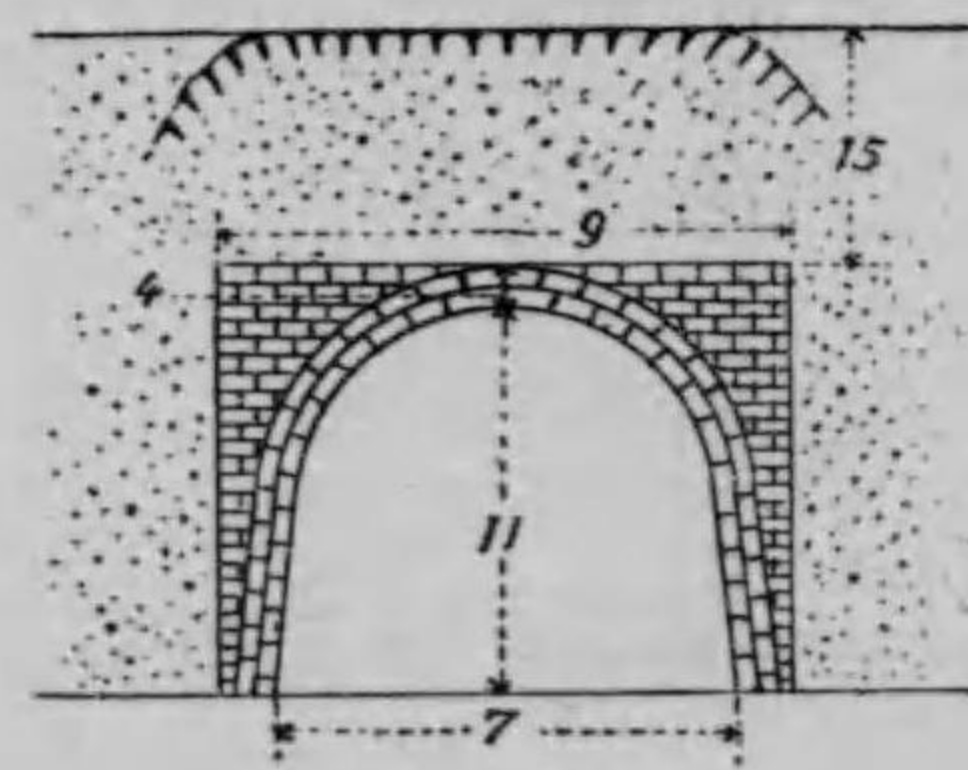
築堤箇處ノ被害  
水路ノ被害

笹塚附近 淀橋浄水所ヲ距ル約十九町ナル築堤及水路ハ其下ヲ横切ル煉瓦造「アーチ」ノ破壊ニ伴ヒ崩壊シ、水路ノ兩壁ニ於ケル被害箇處ハ北側三十三尺、南側六尺ナリ、崩壊箇處ノ平面圖及「アーチ」ノ断面圖ハ第十八圖ノ如シ

第十八圖  
崩壊箇處平面圖



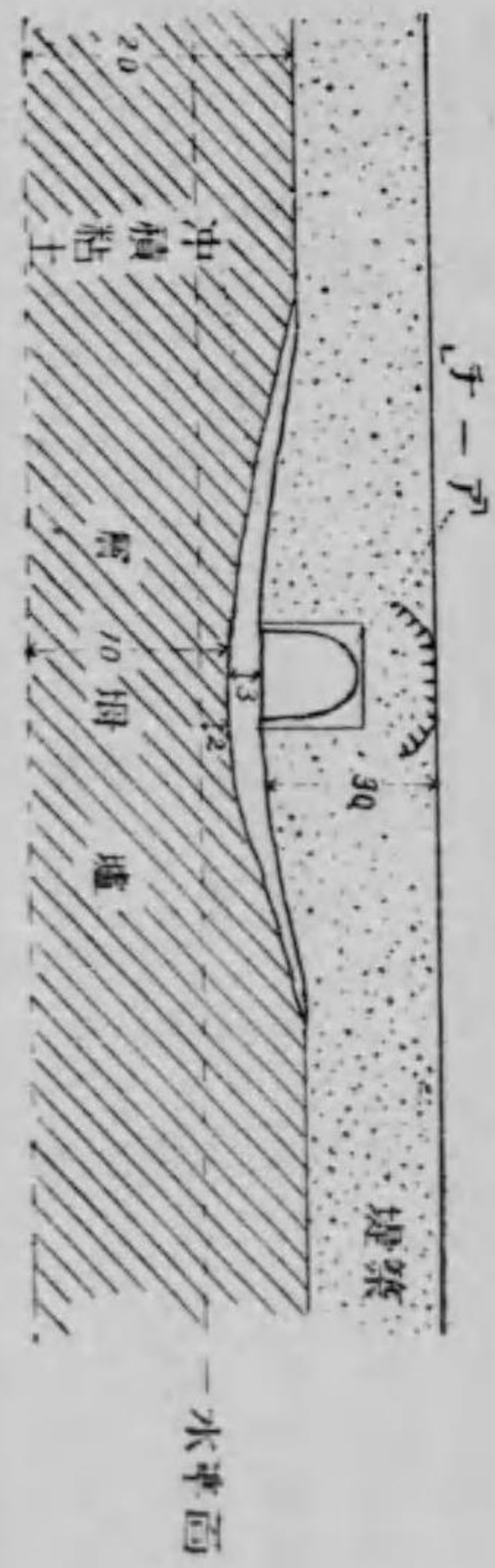
「アーチ」断面圖

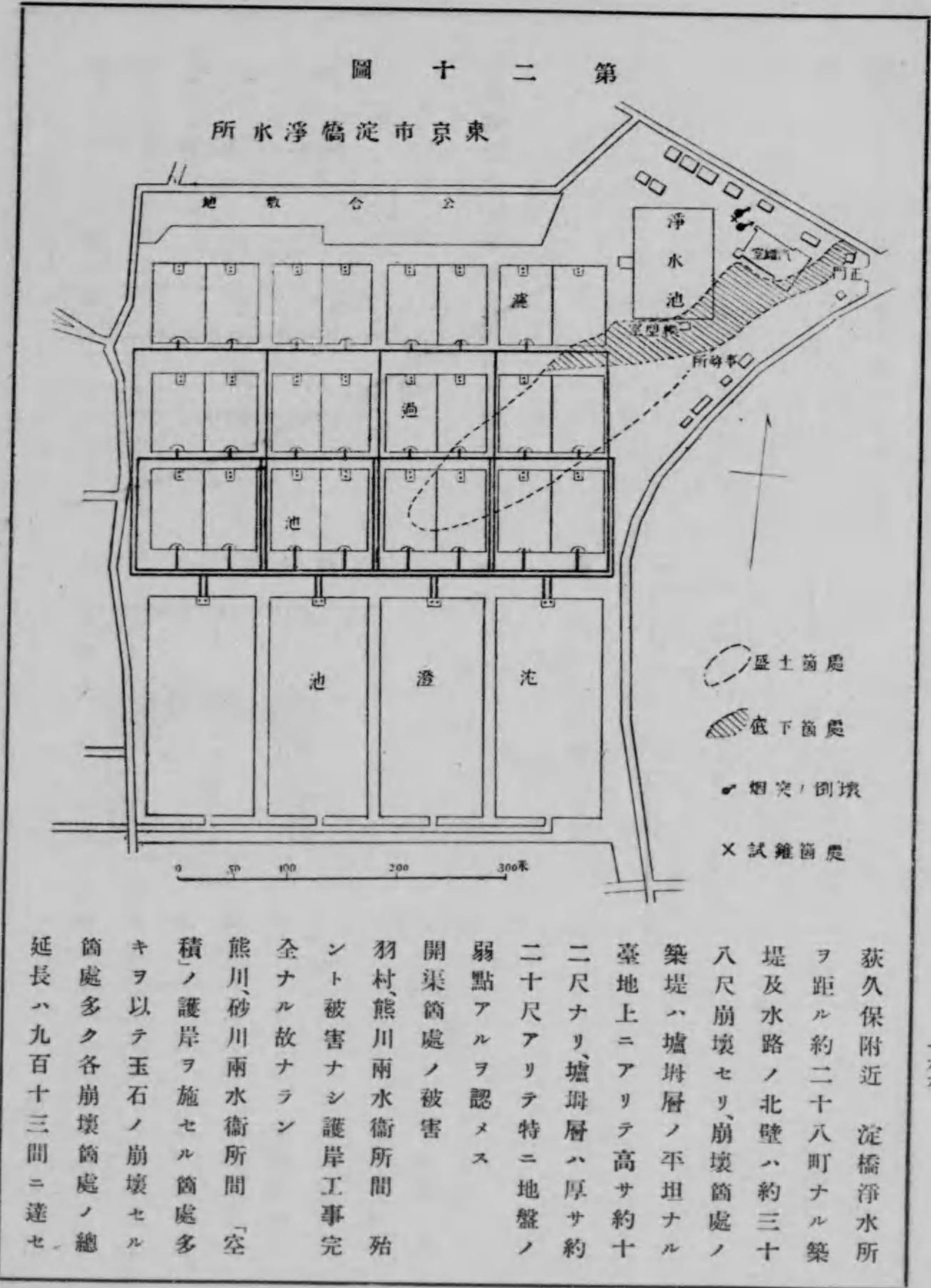


「アーチ」ハ厚サ約三尺ノ沖積層粘土上ニ築ケルモノニシテ該粘土ノ下ニハ厚サ約十尺ノ壩母層アリ、水準面ハ壩母層ノ最上部ヨリ約二尺ノ下ニアルヲ以テ沖積層粘土ハ常ニ水分ニ富ミ地盤軟弱ニシテ「アーチ」ノ破壊ヲ容易ナラシメタルモノ、如シ、崩

壊箇處附近ノ地形及地質ハ第十九圖ノ如シ

第十九圖





リ、主ナル崩壊箇處ハ其長サヲ第十六圖ニ示セリ  
 砂川、小川兩水衛所間 壩垣ヲ掘鑿シテ「空積」ノ護岸ヲ施サ、ル箇處多キヲ以テ殆ント被害ナシ  
 小川、境兩水衛所間 「空積」ノ護岸ヲ施セル箇處多キヲ以テ玉石ノ崩壊セル箇處多ク各崩壊箇處  
 ノ總延長ハ百八十間ナリ、崩壊箇處ノ主ナルモノハ之ヲ第十六圖ニ示セリ  
 境、和田堀兩水衛所間 壩垣ヲ掘鑿シテ「空積」ノ護岸ヲ施サ、ル箇處多キヲ以テ被害殆ントナシ  
 開渠ノ沿岸ニハ處々ニ幅約一寸ノ龜裂生シ、其方向ハ常ニ開渠ニ平行セリ、各龜裂ノ長サハ之ヲ  
 第十六圖ニ示セリ

淀 橋 淨 水 所 内 ノ 被 害

地質 第二十圖ニ示セル試錐箇處ノ地質ヲ見ルニ地表ヨリ十五尺ハ壩垣層ニシテ、其下部ニ厚  
 サ二尺ノ暗灰色粘土層アリ、其下部ニハ厚サ十尺ノ綠色砂質粘土發達シ更ニ其下部ニハ厚サ三  
 尺ノ浮石質粘土アリ、該粘土層ノ下部ニハ綠色ノ砂アリテ其厚サ六尺以上ナリ、淨水所附近ノ井  
 戸ノ深サハ十八尺乃至二十尺ニシテ水面ハ平均地表ヨリ十二尺ナリ、第二十圖ニ示セル盛土箇  
 處ハ窪地ヲナセル壩垣層ノ表面ニ厚サ五尺乃至八尺ノ壩垣ヲ盛土セルモノニシテ盛土後三十  
 年ヲ經過セルモノナリ

土地ノ低下 第二十圖ニ示セルカ如ク四寸乃至一尺低下セルトコロアリ、其低下箇處ハ盛土箇  
 處中ニアリテ煉瓦造汽罐室ノ東側及南側ナル一部ハ約六寸低下セルモ汽罐室ノ基礎ハ原狀ヲ  
 保テリ

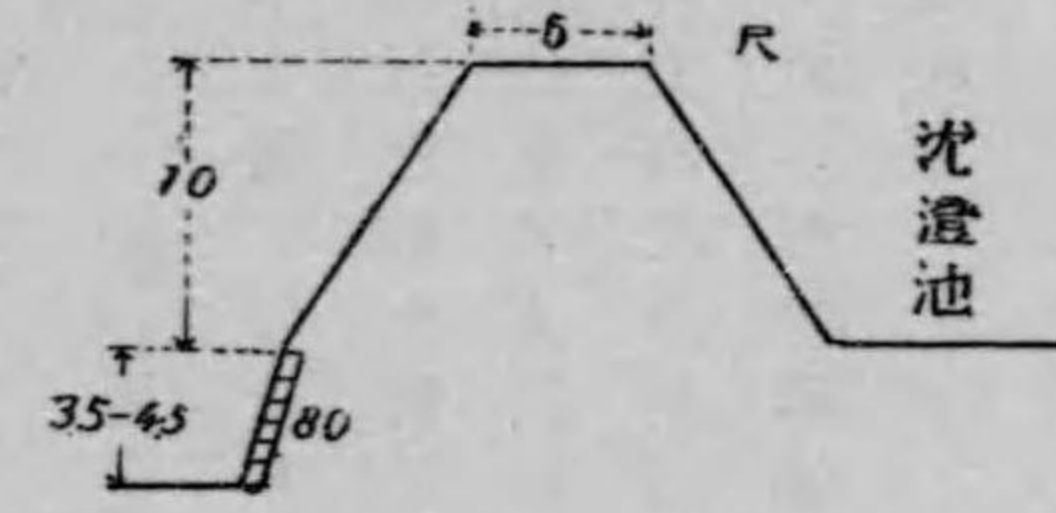
築堤ノ被害 瀘過池及沈澄池ノ周圍ナル築堤ニハ多數ノ龜裂築堤ニ平行シテ生セシモ調査當

# 東京府東部地震調査報文

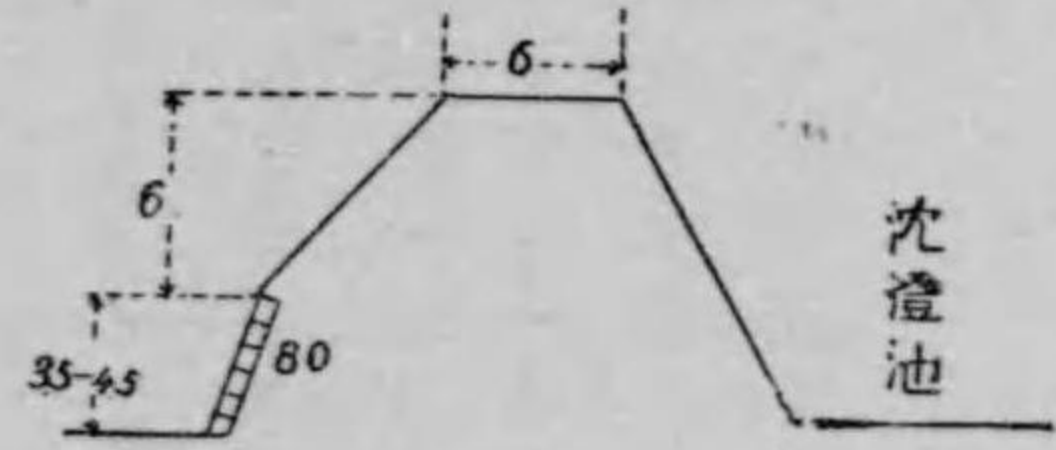
時ハ既ニ其幅、深サ等不明トナレリ、沈渣池ノ東側、南側及西側ニ於ケル築堤ノ断面圖ハ第二十一圖ノ如シ

圖一十二第

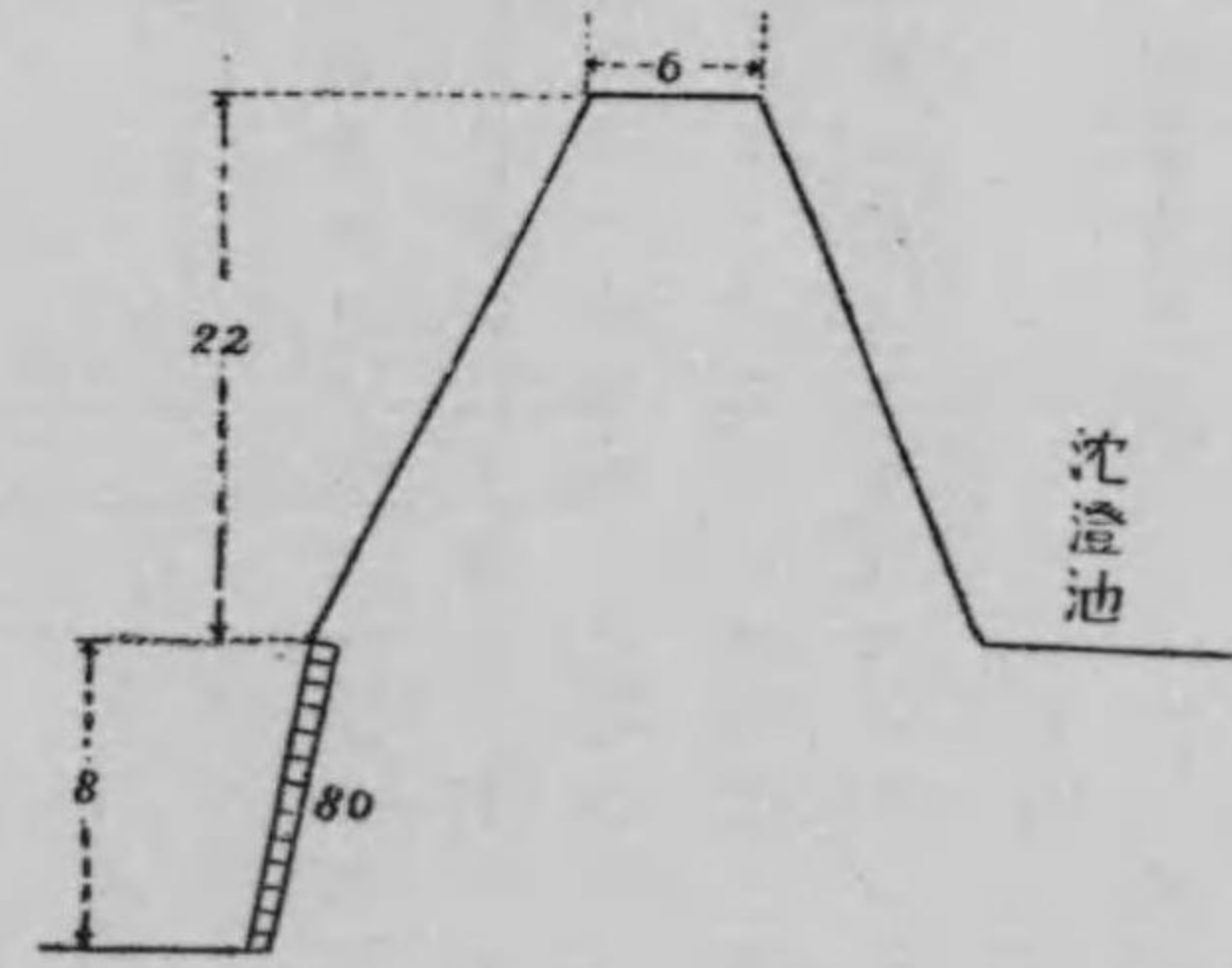
圖面斷側東



圖面斷側南



圖面斷側西



煙突ノ被害 汽罐室ノ西部ナル二本ノ煙突ハ其上部崩壊セリ、煉瓦造ニシテ高サ各百二十一尺六寸、最下部外徑十五尺四寸、最上部外徑九尺八寸、崩壊箇處上ヨリ十五尺、倒潰方向北八十度東ナリ

汽罐室内ノ被害 唧筒六臺ノ中三臺送水管六本ノ中三本破損シ起重機一臺墜落セリ

# 東京府東部地震調査報文

## 目次

一 調査區域	一六九頁
荏原郡	一六九頁
北多摩郡	一九三頁
豊多摩郡	一九六頁
二 土地ノ龜裂	一九六頁
三 土地ノ崩壊	一九七頁
四 堤ノ崩壊	一九七頁
五 建築物ノ被害	一九八頁
六 煙突ノ破損	二〇〇頁
七 石塀ノ破損	二〇一頁
八 煉瓦塀ノ破損	二〇一頁
九 石碑ノ損傷	二〇一頁
十 石燈籠ノ破損	二〇二頁

一	鳥居及銅像ノ損傷	二〇二頁
二	井水ノ變化	二〇二頁
三	潮位ノ變化	二〇三頁
四	水、泥土ノ噴出	二〇三頁
五	土地ノ低下	二〇三頁

# 東京府東部地震調査報文

農商務技手 赤木健

## 一 調査區域

調査區域ハ多摩川本流ト中央線トノ挟ム地域ニシテ荏原郡全部、豊多摩郡及北多摩郡ノ南部ヲ包含ス(第一版、即チ)

豊多摩郡 淀橋町、中野町、代々幡町、高井戸村、和田堀之内村

荏原郡 目黒町(一部)、大崎町、品川町、大森町、入新井町、大井町、羽田町、平塚町、馬込村、池上村、六郷村、矢口村、調布村、松澤村、世田ヶ谷村、碑衾村、玉川村

北多摩郡 千歳村、三鷹村、調布町、砧村、狛江村、神代村、多摩村、國分寺村、立川村、谷保村、西府村

## 荏原郡

### 大崎町

土地ノ龜裂 目黒川流域ナル大崎橋、谷山橋附近ニ於テ三條乃至六條ノ龜裂存在シ方向ハ河岸(道路)ニ平行、幅〇六米以下、長サ最長一二〇米、深サ〇三米乃至〇五米、河中ニ沁リ落チテ落差〇三米餘ニ達スルモノアリ、龜裂ハ道路ニ沿ヒ河中ニ沁落シタルモ未タ崩壞スルニ至ラス(第一圖)

家屋ノ損傷 全戸數八、二、三二戸中全潰六六棟、一、二〇戸、半潰八四棟、一、四六戸、燒失家屋二八棟、五

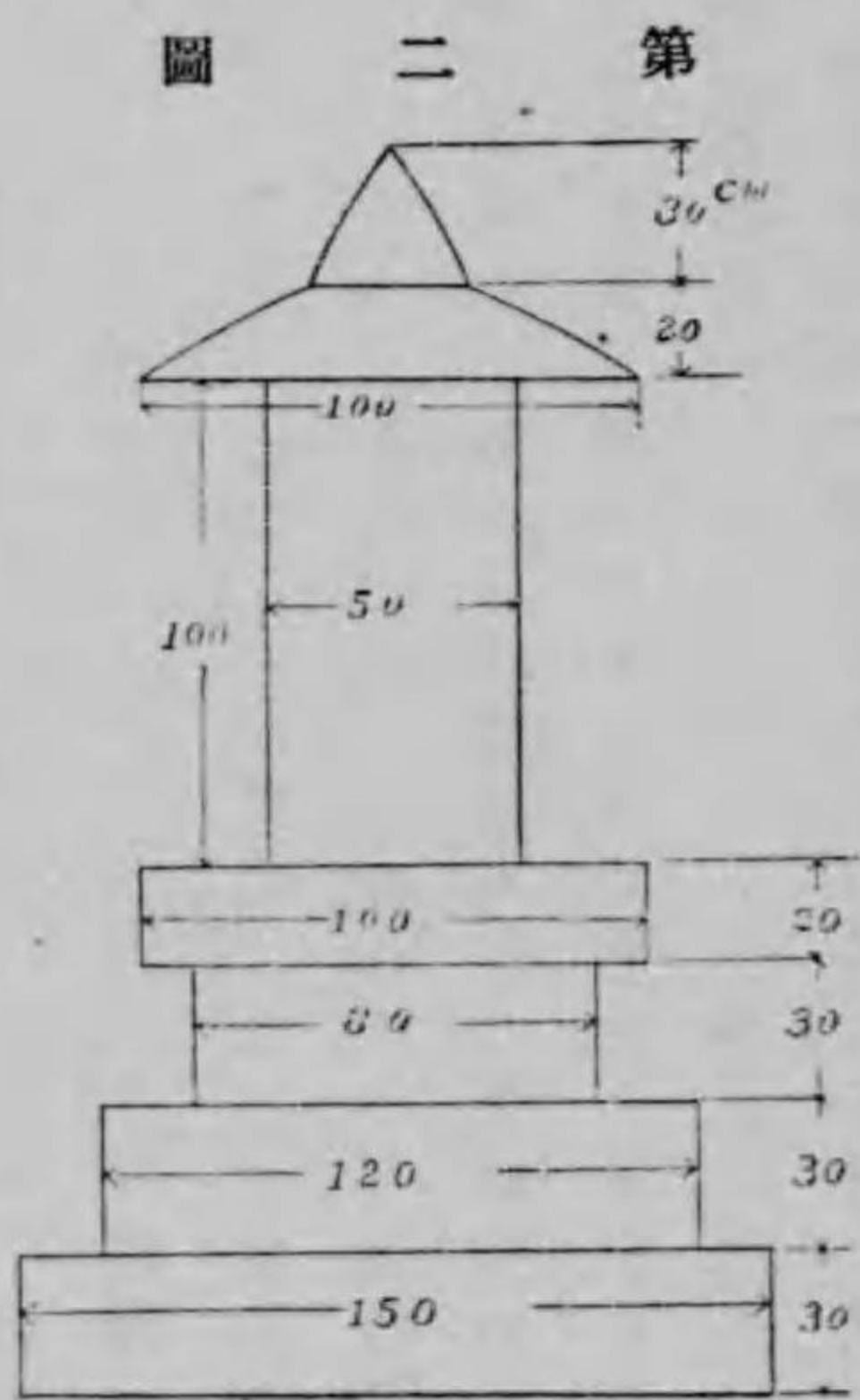


テ地盤最モ軟弱ナル地域ナリ、因リテ建築物ノ被害モ甚シカリシカ如シ  
家屋ノ倒潰方向ハ概シテ北西又ハ南西ナリ  
石碑ノ損傷 大崎町白金猿町最上寺境内ニ於ケル石碑ノ損傷ハ次ノ如シ

- (イ) 總數 七三
- (ロ) 顛倒セシモノ 一六  

東	一	西	七〇
南	一	北	七
方	二	方	三
方	三	方	四
- (ハ) 廻轉セルモノ 一一(廻轉セシモノハ殆ント移動ヲ伴ヘリ)  
 廻轉度數ハ一〇度乃至六五度(右方廻轉三、左方廻轉八)、移動距離ハ三糎乃至五糎ナリ
- (ニ) 移動セルモノ 一、北方へ五糎

二戸、死傷者無シ  
被害ノ多キ箇處ハ目黒川流域ノ冲積平地ニシテ就中谷山、桐谷及居木橋ノ南東部、大崎驛附近最モ甚シキヲ見ル  
本區域ニ於ケル建築物ハ概ネ木造平家及二階建ノ瓦葺ノ建築ニカ、リ其構造必スシモ強固ナラス、尙本地域ニハ製造工場多ク中ニハ木骨煉瓦造建築物アリ、此等ノ外壁ノ多クハ龜裂ヲ生シ上半部ハ破壊ス  
建築物ト地盤トノ關係 桐谷小字谷戸窪附近ニ於テハ尙濕潤ナル沼地ニ類スル處存在ス、目黒川流域ハ粘土層ヨリ成ル冲積平地ニシ



- (ホ) 顛倒セルモノト然ラサルモノトノ比 五對一
- (ヘ) 石碑ノ大サ最高二・二米(第二圖)  
 煙突ノ損傷 大崎町谷山一二三、日東電氣株式會社構内煉瓦造煙突挫折ス  
 此煙突ハ大正七年ノ建設ニカ、リ地盤上ノ高さ二三米、上部内邊一米、外邊一・五米、四角形ニシテ鐵輪一・五米毎ニアリ、下部ヨリ一六米ノ箇處

ニテ挫折シテ北西方ニ倒潰シ其際木造平家建十坪ノ室ヲ壓潰シタリ  
 塀ノ倒潰 大崎町谷山小學校ニ於テ長サ五〇米、高サ二米ノ煉瓦塀倒潰ス  
 井水ノ變化 震災當時一時濁リタル外變化ナシ

### 品川町

土地ノ龜裂 品川町ニ於テハ土地ノ龜裂少ク僅ニ海岸ノ埋立地ニ於テ存在スルノミ、品川歩行新宿ノ埋立地ニ於テ海岸ノ堤ニ平行ニ三條ノ龜裂アリ、北七〇度東ニ走リ長サ約三〇米以下、幅二〇糎内外(深サ不明)ナリ  
 埋立地ハ附近海底ノ砂土ヲ以テ埋立テタルトコロニシテ地盤軟弱ナリ  
 堤ノ崩壞及損傷 品川歩行新宿ノ埋立地ノ北岸及獵師町海岸ノ防波堤石垣ノ一部ニ崩壞セシ

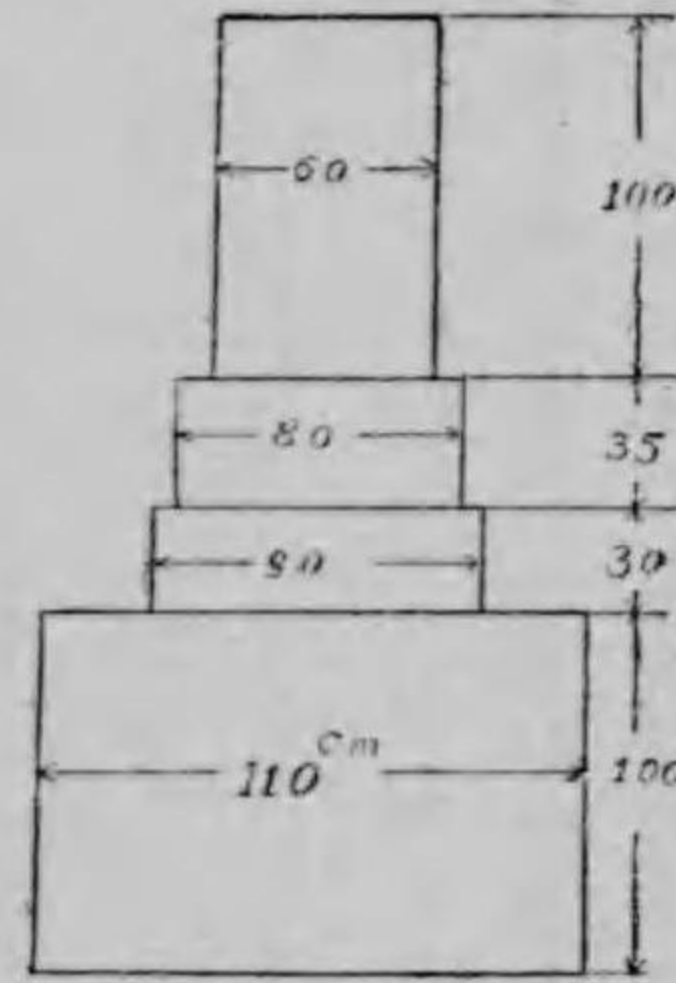
處アリ、石垣ハ高サ二・五米、長サ四〇米ノモノ最大ニシテ海中ニ向ツテ崩ル  
家屋ノ損傷 全戸數一、一五七戸

大字名	全潰家屋	半潰家屋	大字名	全潰家屋	半潰家屋
歩行新宿	一戸	一二戸	南品川獵師町	一戸	五戸
北品川宿	二三戸	五七戸	南品川利田新田	一戸	五戸
南品川宿	四九戸	一〇三戸	計	八九戸	二三八戸
二日五市	一六戸	五九戸			

燒失一棟(三共製藥株式會社)死者五名(男)負傷者二名(男一、女一)

石碑ノ損傷 北品川北馬場五三、千人塚(安政ノ地震ノ際ノ供養塚) 千人塚ハ全高二・六五米、石棹一米ノ角柱(一邊ノ長サ〇・六米)ニシテ北方ニ倒レ第一ノ臺石ハ一〇度内外左方ニ廻轉ス(第三圖)

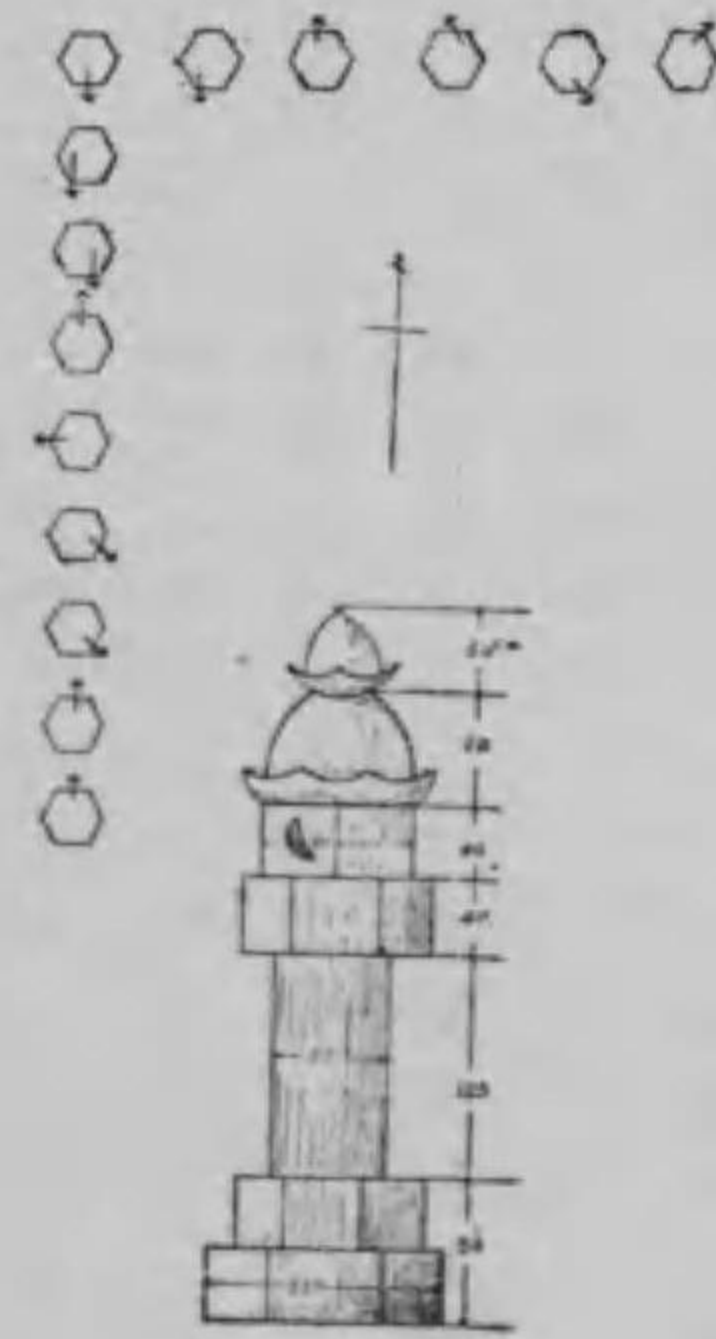
第三圖



品川町南品川

石燈籠ノ倒潰

第四圖



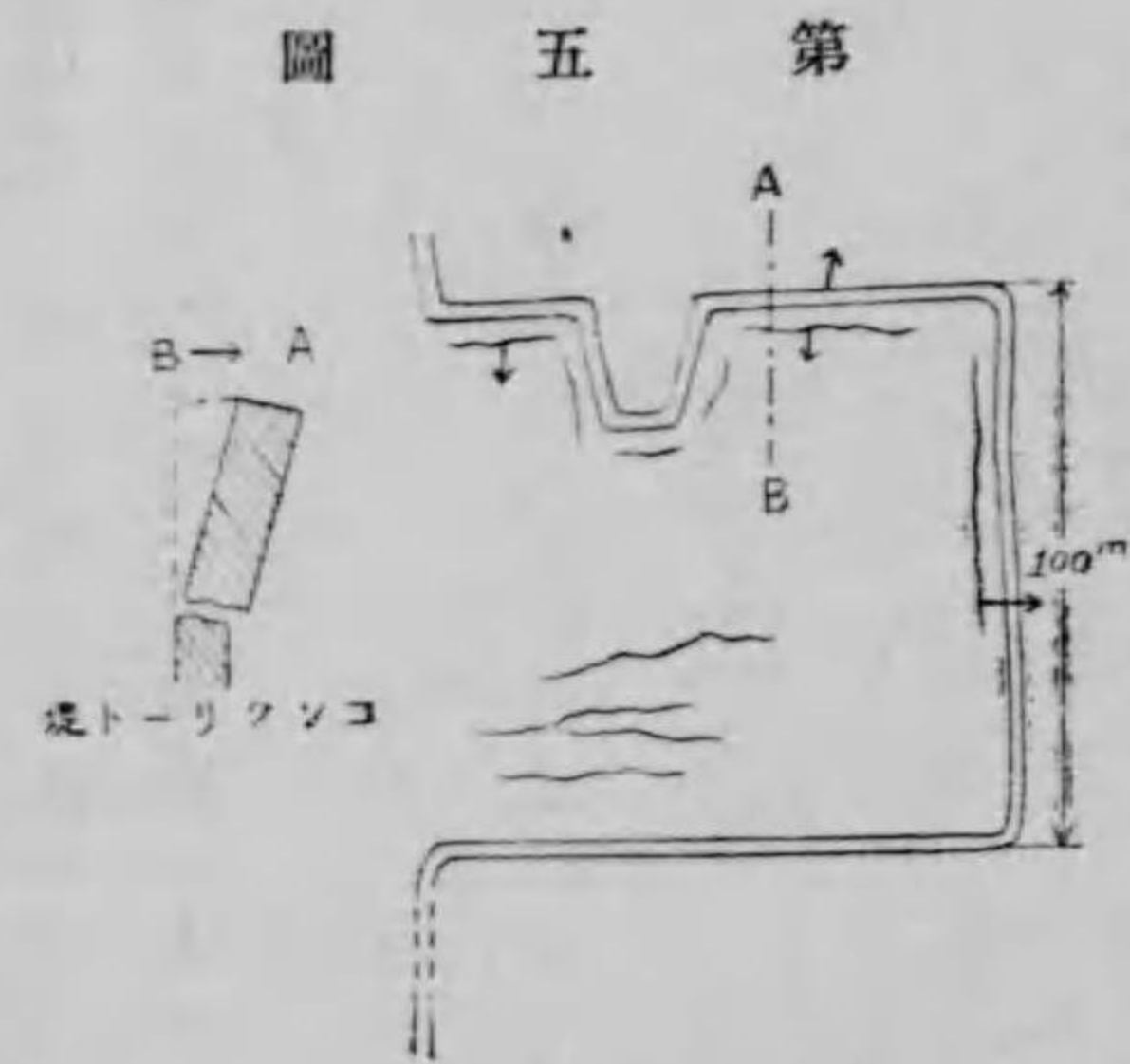
海晏寺境内ノ岩倉家ノ墓地ニ於テ石燈籠ハ全部倒レタリ、其高サ最大四米ニシテ概シテ南北ノ方向ニ倒ル(第四圖)

全基數一四中倒潰方向北方四、南方四、北東一、西一、

南東三、北三〇度西一  
煙突ノ損傷 北品川白煉瓦製造所ノ煉瓦造煙突二基ハ上部破損シ且ツ全體ニ互リテ龜裂ヲ生シタリ、高サ二〇米ノモノト一八米ノモノトアリ、何レモ角柱ニシテ上部ノ直徑一米、下底部三米アリ、共ニ鐵輪アリ、龜裂ハ縱ニ長サ五米ニ達スルモノアリテ何レモ分岐ス、幅ハ最大四糎ニ達ス井水ノ變化 震災當時一時濁リタルモ數日ニシテ清澄トナレリ  
潮位ノ變化 滿潮ノ時刻平日ヨリ約二時間餘早カリシト云フ

大井町

土地ノ龜裂 大井町ニ於テ龜裂ヲ生セシハ海岸ノ埋立地及大井町一、二、四三番地附近ナリ



硅藻土工業株式會社構内ニ東西及南北ニ走ル龜裂アリテ東西ニ走ルモノニシテ大ナルモノ四條、南北ニ走ルモノニシテ大ナルモノ三條アリ  
幅ノ最大ナルモノハ約〇・五米、深サ〇・四米以下ノモノ多ク長サハ最大ナルモノ八〇米餘ナリ  
千代田鑄工株式會社東岸ノコンクリート堤ノ内側ニ沿ヒテ東西ニ走ル二條ノ龜裂アリ、幅ハ〇・三米、長サ七〇米、深サハ〇・三米以下ナリ

大井町一、二、四三番地附近

當地附近ハ一、二、四三番地ノ外、一、一九三、一、一九四番地ニ互リテ東西、北一〇度東ニ走ル龜裂アリ、大ナルモノハ約七條餘、長サ最大ナルモノ七〇米、幅ハ〇・八米乃至一米、深サ一・二米以内ナリ、落差

約二米ニ達スルモノアリ、此附近ハ上部ニハ壩層アリテ其下ニハ砂礫層アリ、洪積層ニ屬スルモノナルヘシ

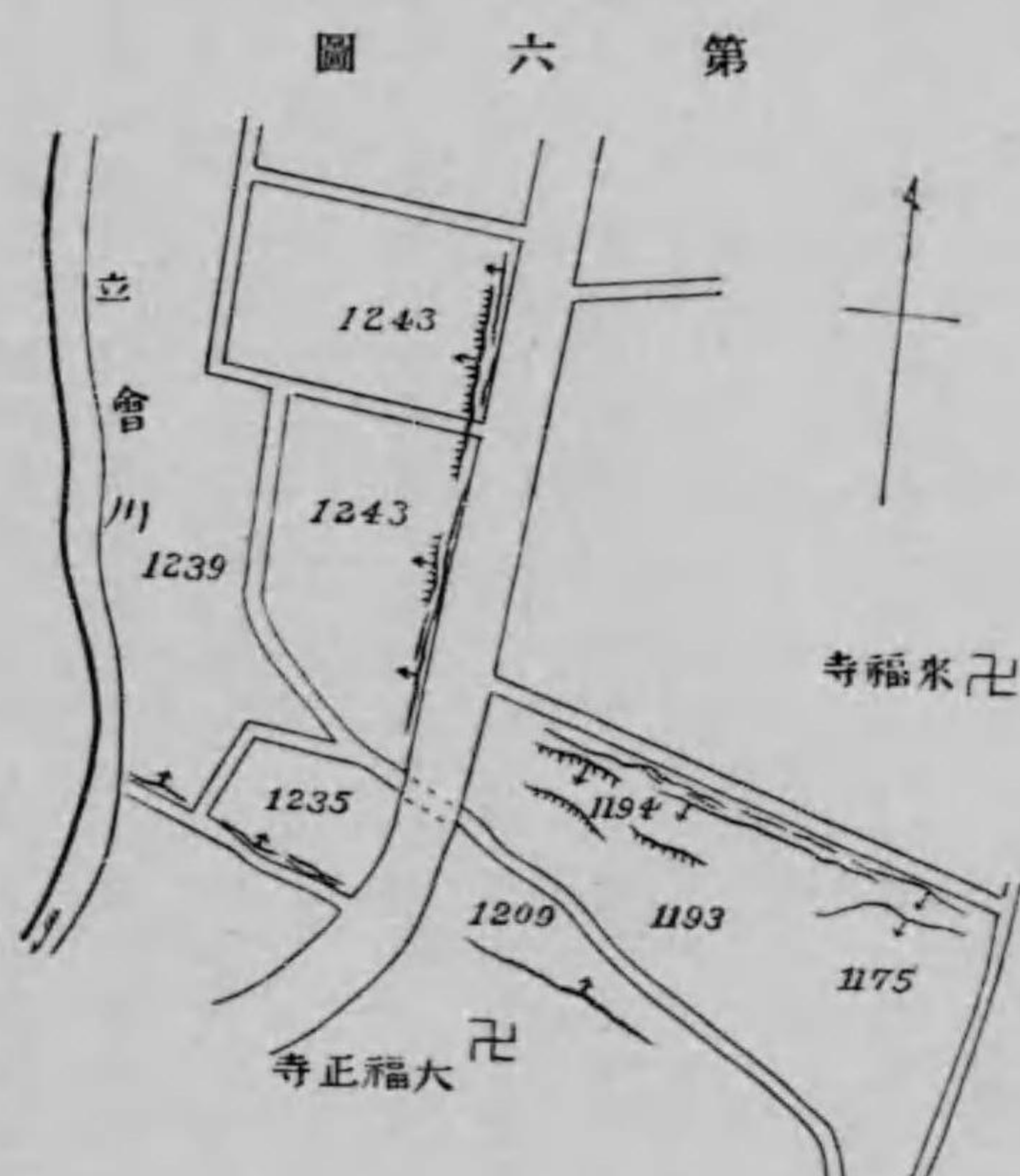
土地ノ崩壞 前記一、二、四三番地ニ於テハ道路ニ平行ニ大小ノ龜裂ヲ生シ、方向北五度西西方ニ崩壞セル處アリ、其長サ四〇米、落差六米ナリ(第六圖)

家屋ノ損傷 全潰二九棟、内工場六棟、住宅一八棟、一八戸、其他五棟、半潰六六棟、内物置土藏八棟、燒失ナシ、死者一八名、重傷者九名

全潰セル主ナル建物ハ煉瓦造建築物トシテ東海電極株式會社、オルガン工場、真崎鉛筆製

造所、日本「モスリン」工場(倉庫二棟)、東京毛織株式會社(三八〇坪)等ノ一部建物、木造建築物トシテハ「一、一九四」「一、一九三」「一、二四三」「一、二三五」「一、八八七」「一、七五五」「四、六四二」「四、五六三」「四、三三〇」「三、三二九」森下「六二〇」「五六五」「三、五二九(三)番地等

崩ノ損傷 真崎市川鉛筆工場ノ外壁ナル煉瓦壁及東京毛織株式會社ノ煉瓦壁ハ何レモ外方ニ

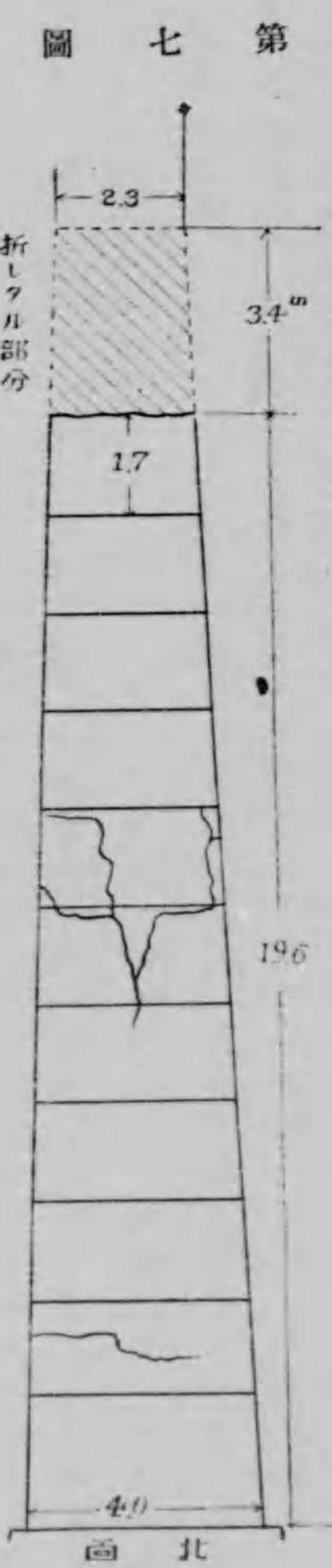


第六圖

向ツテ轉倒シタリ 煙突ノ損傷 大井町東京毛織大井工場ニ鐵筋コンクリート造ノ高サ一七米ノ煙突アリシカ下部ヨリ七米ノ箇處ヨリ北三〇度西ノ方向ニ挫折シタリ、煙突ノ太サハ下部直徑二・八米、最上部一米ニシテ厚サハ一・五糎、鐵筋ノ太サ直徑二糎ニシテ十本入レリ、顛倒ノ際土中ニ深サ〇・五米ノ穴ヲ穿チタリ、其他被害ナシ

大井町濱川車輛附屬品製造工場ノ圓煙突ハ煉瓦造ニシテ高サ二三米、直徑下部四米、上部二・三米ニシテ上部三・四米ノ間ハ挫折シ中央部ニハ龜裂ヲ生シタリ(第七圖)

大井町濱川車輛附屬品製造工場



第七圖

井水ノ變化 一時的ニ濁リタル外異狀ヲ認メス

大森町

土地ノ龜裂 土地ノ龜裂ハ海岸ノ埋立地及河岸ニ生セリ、埋立地ニ於テハ其外邊ニ平行シテ長キ龜裂ノ生セルヲ見、而シテ其長サ五米乃至二〇〇米、幅〇・一米乃至〇・五米、深サ〇・二米乃至一・三



米ニ及ヘリ  
海岸又ハ河岸ニ生セルモノ、中ニハ土地ノ海又ハ河中ニ崩レ落チタルモノアリテ其落差〇・二  
米乃至〇・三米ナリ

(イ) 大森町六、四七七番地(元海水浴場)ノ埋立地

龜裂ハ二條乃至三條、互ニ平行スルモノ多ク敷地ノ周邊ニ竝行ナルヲ普通トスレトモ稀ニ分岐  
スルモノアリ、長サハ最大ナルモノハ一・二〇米ニ達シ幅三〇糎以下ニシテ深サハ不明ナリ  
本地域ニ於テ龜裂ノ生セシ際ハ各龜裂ヨリ泥水ヲ噴出セリト云フ

而シテ本地域ハ附近ノ海底ノ砂泥ヲ掘リテ埋立テタル處ニシテ地盤軟弱ナル爲メ全地域ハ約  
〇・三米内外低下シタルモノ、如シ

(ロ) 大森町日本特殊鋼合名會社(敷地二萬坪)

龜裂ハ敷地内部及外部ニ多數アリテ概シテ敷地ノ周邊ニ平行セリ、方向ハ南北或ハ東西ナリ、長  
サハ最大ナルモノハ二〇〇米ニ及ヒ幅〇・五米以下ニシテ深サハ大ナルモノハ一米ニ達スルカ  
如シ

本敷地ハ海底ノ砂泥ニテ埋立テタルモノニシテ地盤軟弱ナリ、震災當時龜裂ヨリ泥水ヲ噴出セ  
リト云フ

(ハ) 東京瓦斯株式會社大森工場

敷地内ニ多數ノ大小ノ龜裂ヲ生シ三條乃至四條互ニ平行スルヲ普通トス、主ナル龜裂ハ北四十  
度西ニ走ルモノ六、北十度東ノモノ二、北東ノモノ三、北五十度東ノモノ二ナリ

長サハ七米乃至一・二〇米ニシテ幅ハ〇・三米以下ノモノ多ク、深サハ不明ナルモノ多數ナレトモ  
〇・七米ニ及フモノアリ

本工場敷地ハ埋立地ニシテ地盤ハ軟弱ナリ、瓦斯蒸溜窯ノ南西方ノ敷石地帯ハ〇・三五米低下セ  
リ

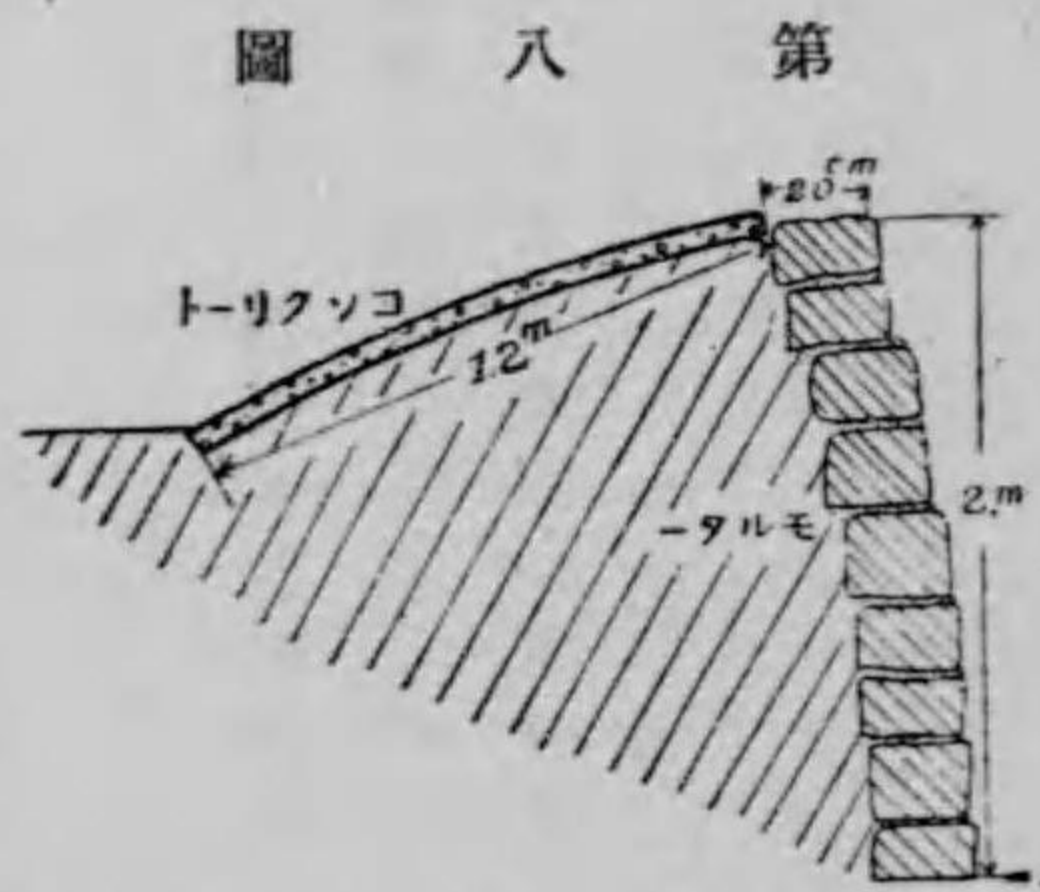
堤防ノ崩壊及損傷

大森海岸ノ埋立地ノ堤防ハ鐵筋コンクリート造ナリシモ其接目ヨリ破損  
セシモノ多シ

大森八幡六四七七番地附近ノ埋立地ノ堤防ハ處々破損シ海中ニ崩  
レ又ハ五度乃至二〇度傾斜セリ、堤防ハ高サ二米、幅上部〇・三五米、下  
部〇・七米ニシテ鐵筋ノ太サハ直徑一・五糎ニシテ十本入レリ

石垣ノ崩壊 大森町海岸ハ石垣ニテ作ラレタルモノ多ク處々破壊  
セラル

日本特殊鋼合名會社ノ東海岸ノ堤ノ砂岩ヨリ成ル壁破壊セラル、各  
砂岩ノ間ハ「モルタル」ニテ接合セラレ積重ネラレタルモノニシテ上  
半部ハ此ノ「モルタル」ノ接目ヨリ離レ海中ニ崩壊シタリ、上部ノ「コン



第 八 圖

クリート」ノ部分ハ龜裂ヲ生セシモノ多シ、崩壊箇處ノ最大ナルモノハ約八〇米ニ及ヘリ

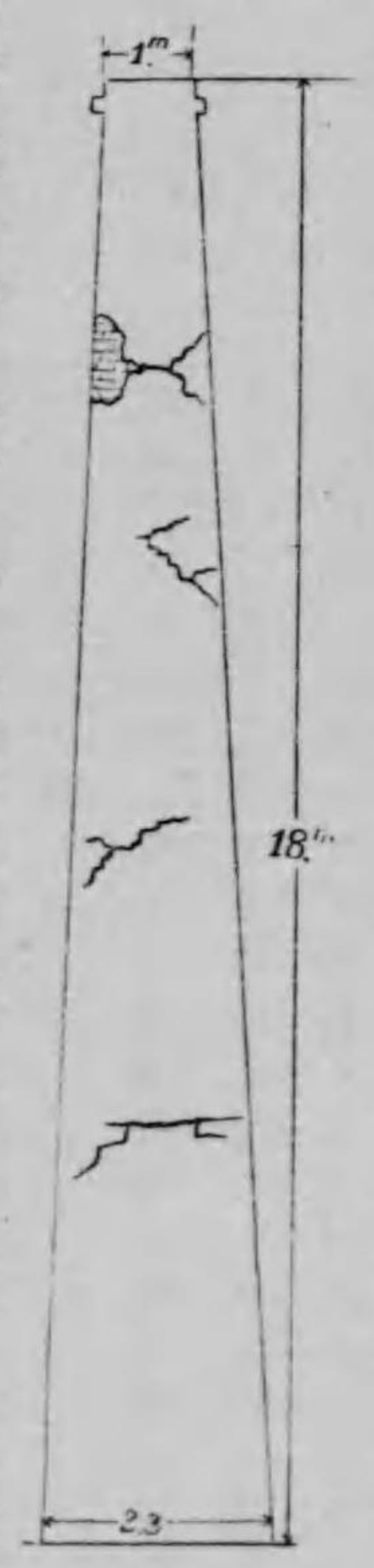
家屋ノ損傷 大森町全戸數四、五三〇戸中全潰戸數二、六四戸、半潰七三一戸、燒失家屋無シ、水害ノ  
爲ニ全潰セシモノ二戸、壓死者二〇名

當町ニ於ケル煉瓦造建築物ハ殆ント破壊セラル、倒潰方向ハ南東及北西方最モ多數ナリ

被害多キ區域		南	原	山	谷	川	端	濱	端
全	潰	潰	四三	八〇	四九	二九	四六	二二六	四六
半			一九一	一八〇					

崩ノ崩壊 大森町貴船神社ノ石塀ハ南方及東方ニ倒潰セリ、其高サ二米、厚サ二五糎、長サ六四米ナリ  
 石燈籠ノ損傷 貴船神社ニハ石燈籠四基アリテ何レモ北或ハ北一五度西ノ方向ニ倒潰ス  
 煙突ノ損傷

圖九第



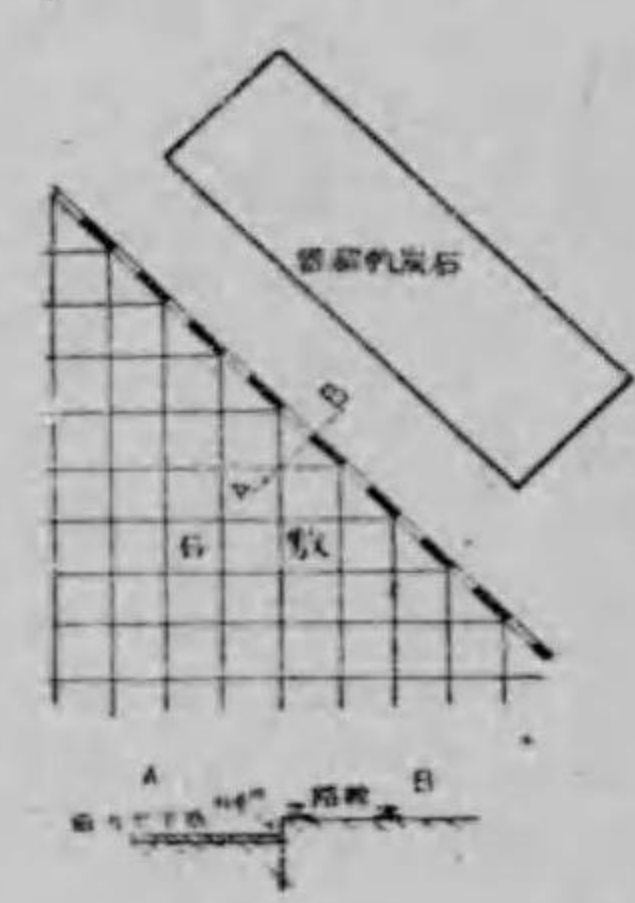
部直徑二三米ナリ、龜裂ハ下ヨリ五米、上ヨリ四米ノ間ニ四箇處生シタリ

1. 日本特殊鋼合名會社ノ煉瓦造煙突ニ龜裂ヲ生シタリ、煙突ハ鐵輸入リニシテ高サ十八米、下部直徑二三米ナリ、龜裂ハ下ヨリ五米、上ヨリ四米ノ間ニ四箇處生シタリ
  2. 東京瓦斯會社 大森工場ノ煙突ハ煉瓦造(輸入)ニシテ高サ一九米、下部直徑二米、上部一米ニシテ下ヨリ七米ニ二箇處上部ニ近ク大ナル龜裂生シタリ  
 土地ノ低下 大森海岸ノ埋立地域ナル日本特殊鋼合名會社及東京瓦斯大森工場ノ敷地ハ二〇糎乃至三〇糎低下セルモノ、如シ
- (イ) 日本特殊鋼合名會社敷地ハ面積約二萬坪餘ニシテ滿潮時ノ潮位ヨリ察スルニ震災前ヨリ

敷地約〇・四米内外低シト云フ

(ロ) 會社ノ門前ノ水道鐵管截斷セラレ約〇・五米低下セリ、之レ敷地全體ノ低下ヲ示セルモノナリ

圖十第



(ハ) 東京瓦斯會社大森工場(面積五萬坪以上)ノ低下セシ區域ハ局部的ニシテ約千坪内外ナリ、石炭乾溜器ノ西方敷石ニテ作ラレタル區域ハ鐵道線路ヨリ低下セルコト約四〇糎ナリ  
 井水ノ變化 地震アリタル後數日間ハ濁リタルモ後清澄トナレリト云フ

### 蒲田町

土地ノ龜裂 龜裂ト稱スヘキモノ甚タ少シ、呑川ノ上流、蒲田驛ノ北東ニ於テ北岸ニ沿ヒ二條ノ龜裂アリ、方向ハ北六〇度乃至七〇度西ニシテ長サ一七〇米、幅〇・三米以下、深サ〇・七米、落差最大ナルモノ〇・二五米ナリ  
 家屋ノ損傷 全戸數二、三四四戸中全潰家屋二六戸(一八棟)、半潰八八戸(七九棟)、燒失家屋無シ、壓死者無シ、傷者三〇名、被害程度ハ本町内御園、女塚、蒲田新田著シク、一般ノ倒潰方向ハ北三〇度西、北及南方ナリ本地域ハ沖積平地ニシテ地盤軟弱ナル處多シ  
 鳥居及石燈籠ノ倒潰 鳥居ハ御園ノ西部八幡神社ニアリシモノ東方ニ轉倒セリ、石燈籠ハ二個アリテ高サ二米、臺石一・三米ニシテ北方ニ倒潰セリ

崩ノ崩壊 蒲田町八幡神社ノ石造塀ニシテ砂岩ノ長石ヲ積重ネタルモノアリ、塀ハ高サ二米、厚サ二五種ニシテ最下部ノ一段ヲ殘シテ南方ニ倒潰シ其長サ四〇米ニ及ヘリ

樹木ノ損傷 蒲田町八幡神社境内ノ杉木三本北二〇度東ニ傾斜シタリ、太サ根部直徑二〇種一三〇種、高サ一〇米内外ナリ

寺院ノ石塔 巡回ノ際ハ最早原位置ニ復セル爲メ倒潰方向其他ノコトハ不明ナリ

煙突ノ傾斜 蒲田町蒲田新田ニ於テ鐵筋コンクリート造ノ煙突南二〇度東ニ五度傾斜ス、長サ一七米、下部ノ直徑一米、最上部〇五米ナリ

井水ノ變化 一時的ニ濁レリト云フ

### 入新井町

土地ノ龜裂 入新井町海水浴場附近ノ海岸ノ埋立地ニ於テ龜裂ハ埋立地域内ノ堤防附近ニ三條乃至五條アリ、其方向ハ堤ニ平行ナルヲ普通トシ南北或ハ東西ナリ、龜裂ノ長サ大ナルモノハ八〇米、小ナルモノハ五米内外、幅ハ大ナルモノ〇二米、深サ〇二米乃至〇八米ナリ

堤及石垣ノ崩壊

第十圖



(イ) 前記ノ海岸ニ於テ、コンクリート壁ノ堤防東方ニ崩レタリ、長サ八〇米ニ達ス

埋立地ハ附近海底ノ砂泥ニテ埋立テラレタルモノナリ

(ロ) 入新井町海岸海水浴場附近ノ埋立地ノコンクリート堤ハ、コンクリート造ニシテ南北或ハ東西ニ走り埋立地ノ周圍ヲ繞レルモノニシテ三米乃至七米毎ニ龜裂入り海中ニ向テ傾斜シ其角度五度乃至一五度ニ及フ

石垣ノ崩壊 大森驛(省線)ノ西方(元八景園)ノ坂道ノ石垣ハ高サ約六米、長サ二五米ノ間ノ石垣道路上ニ崩レ奥行ハ約一米内外ニシテ石材ハ花崗岩ニシテ角錐形ヲ呈セルモノヲ使用セリ

家屋ノ損傷 全戸數四、一三六戸中全潰住宅八八棟一二二戸、非住宅二八棟計一一六棟、半潰住宅二七棟三一戸、非住宅二棟計二九棟、燒失家屋無シ、壓死者九名、重傷者九名

損害多キ箇處ハ入新井町美南見區ニシテ全戸數一、六〇〇戸中全潰七九戸六四棟、半潰二〇戸ニ及ヘリ

本區域ハ沖積平地ニシテ元田畑ナリシヲ盛土シタル處ニシテ地盤軟弱ナル處ナリ、家屋ハ何レモ大正八年以降ノ建築ニカ、リ新築セラレタルモノ大部分ヲ占ム倒潰方向ハ概シテ北一〇度乃至四〇度西ナリ

崩ノ倒潰 三箇處ニアリ、八景園ノ西部ノ煉瓦造ノ塀北西ノ方向ニ倒潰ス高サ二米、厚サ二五種、長サ二四米餘ナリ

井水ノ變化 井水ハ震災當時一時的ニ濁リシモ後清澄トナレリ

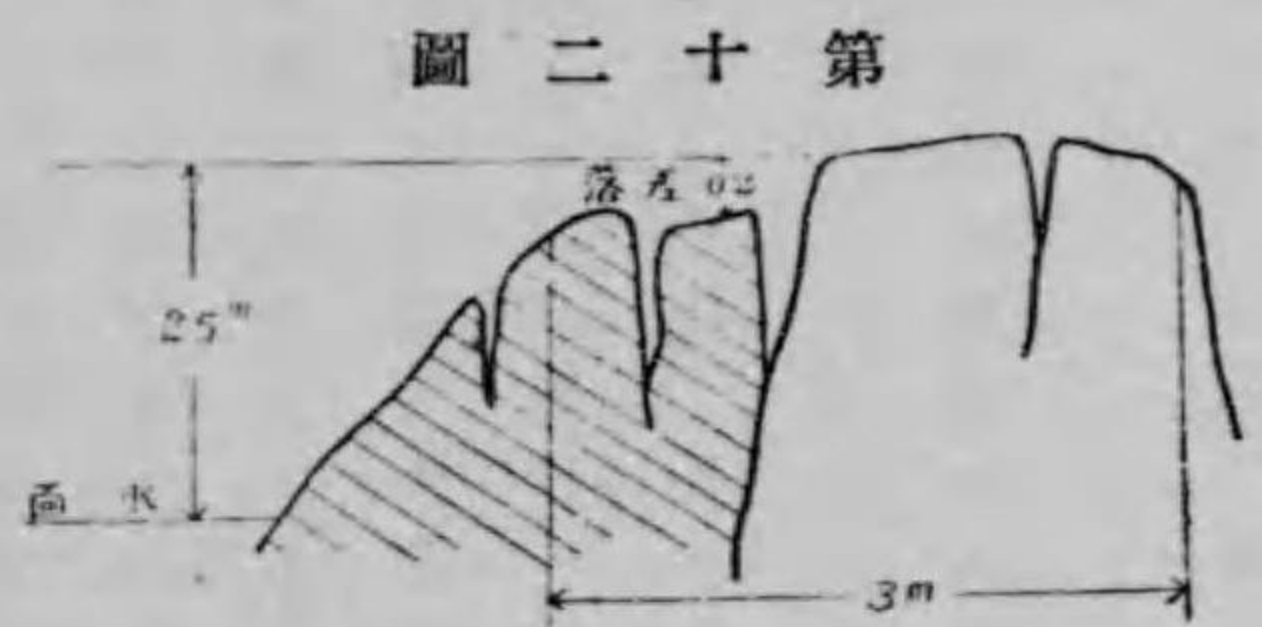
### 羽田町

土地ノ龜裂 土地ノ龜裂ハ多摩川沿岸及鈴木新田(穴守神社ノアル處)ニ甚タ多シ

(1) 多摩川沿岸ニ於テハ龜裂ハ主トシテ河岸ニ平行ニ又ハ直角ニ走ルヲ見ル  
 (イ) 大師ノ渡以西ニ發達スル沖積平地ニ於テ河岸ニ平行ニ東西ニ走ル龜裂二三條、南北ニ走ルモノ一三條餘アリ、幅ハ最大ナルモノ約一米ニ達スレトモ普通〇・三米ナリ、深サハ最深一・二米ニシテ長サハ最長一〇〇米ニ達スレトモ普通二〇米乃至四〇米ノモノ多シ、本區域ハ沖積平地ニシテ地盤軟弱ナル爲メ從テ龜裂モ多ク生セシモノナルヘク、龜裂ノ生セシ當時ハ何レモ泥水ヲ噴出セリト云フ

(ロ) 羽田町獵師町海岸ノ龜裂

多摩川々岸ニ沿ヒテ約二・五米内外ノ幅ヲ有スル堤防略東西ニ走リ之ニ平行シテ二條乃至五條ノ龜裂アリ、長サ最大一〇〇米、幅〇・三米以下、深サ一米以下普通ナリ、往々河岸ニ向ヒテニ落シタル所アリテ其落差約〇・二米ニ及ヘリ



(ハ) 稻荷橋南方ノ堤上ニ三條ノ龜裂アリ、最長八〇米、幅〇・二米、深サ〇・四米方向ハ北二〇度東ナリ  
 (イ) 稻荷橋南方ノ堤ニ沿ヒテ五條ノ龜裂アリ、最長一〇〇米ニ達シ〇・二米餘ノ落差アリ  
 (ロ) 穴守神社北方ニ於テ四條アリ、方向堤ニ平行北八〇度西、或ハ北一〇度東、幅〇・二米内外、長サ最長二二〇米、深サ不明ナリ

(ハ) 穴守電車終點附近ノ龜裂 大ナル龜裂ハ七條内外ニシテ何レモ分岐シ、幅最大ナルモノハ〇・三米ニ及ヘリ

堤ノ崩壞 鈴木新田穴守稻荷ノ北方ノ堤約八〇米破壊シ、石垣ハ海中ニ崩壞シ去リ滿潮時ニハ海水ノ爲メ附近一帯ハ浸水ス

家屋ノ損傷 全戸數二、七〇五戸中全潰六三〇戸、半潰九五六戸、燒失家屋無シ、壓死者二〇名被害多キ區域ハ鈴木新田、羽田、羽田獵師町ナリ、倒潰方向ハ北一〇度乃至四〇度西ノモノ最モ多シ

鐵橋ノ破損 京濱電車ノ鐵橋ノ橋臺低下シ大破セリ

土地ノ低下 鈴木新田及多摩川沿岸地方ニ於テ水位ヨリ察スルニ少クモ約〇・二米乃至〇・三米ハ全體ニ互リテ低下セルモノ、如シ

井水ノ變化 地震アリタル當時ハ一時水濁リタリト云フ

潮位ノ變化 地震當時ハ潮位平常ヨリモ〇・五米乃至〇・七米高カリシト云フ

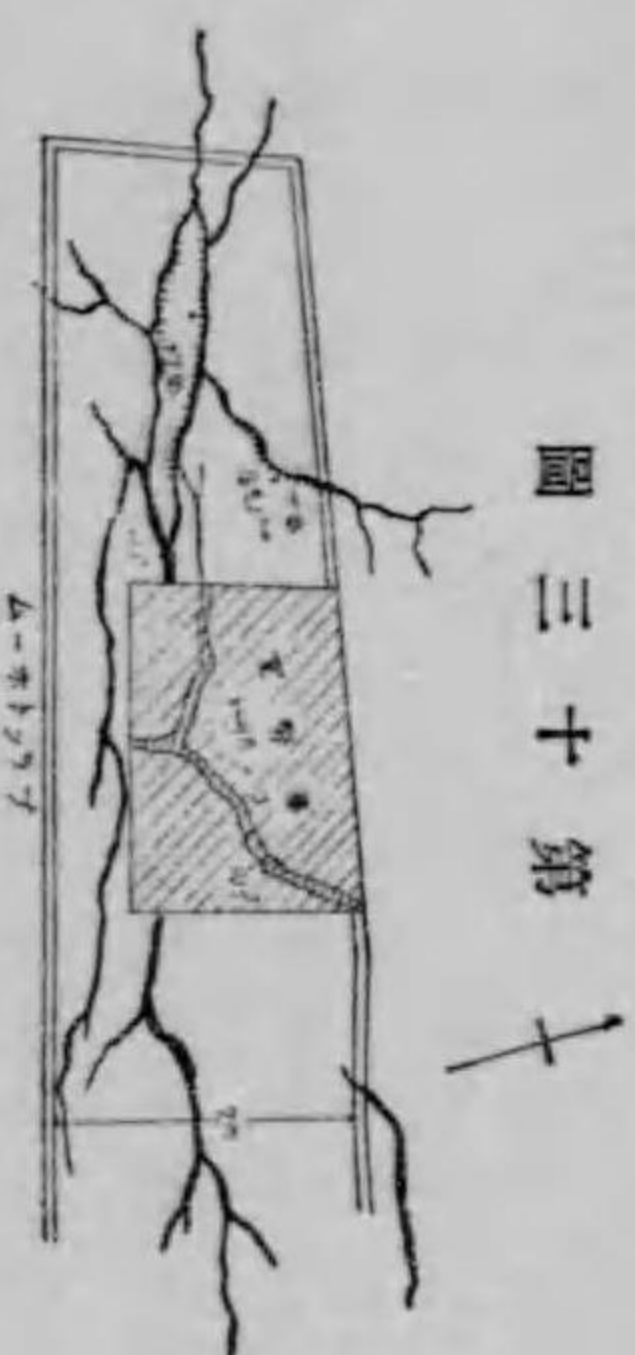
平塚村

家屋ノ損傷 全戸數五、八〇〇戸中全潰三七棟内住宅二二棟、土藏一棟、半潰二二棟(煉瓦造石炭置場一四棟)、燒失家屋無シ、壓死者二名  
 本村ハ洪積臺地大部分ヲ占ムル爲メ被害甚タ少シ  
 石塔ノ損傷及倒潰 石塔ハ一般ニ八割ハ倒潰セリト云フ

馬込村

家屋ノ損傷 全潰一〇七戸、半潰二〇戸、燒失家屋無シ、壓死者一名、重傷者二名  
全潰家屋ハ馬込村大字東及谷中ニ限ラレ其率約七五割ニ達ス、本地域ハ水田ノ盛土地ニシテ地

盤甚タ軟弱ナル處ナレハ此結果ヲ來セシモノニシテ倒潰方向ハ一般ニ北二〇度乃至四五度西ナルモノ多シ



崖ノ崩壞 大字塚越ニ於テ僅ニ崖ノ崩壞セ  
ルモノアリテ高サ二・三米長サ一〇米餘、奥行  
一米ニシテ道路ニ面シテ東南東ニ崩ル  
崩ノ崩壞 馬込村役場ノ前ニアル八幡神社  
ノ南側ノ石塀崩壞ス  
堤ノ崩壞 鈴木新田穴守稻荷ノ北方ノ堤約八〇米破壞セララル、石垣海中ニ崩壞シ去リ満潮時ニ  
ハ海水浸入シ鈴木新田ノ大部分ニ氾濫ス  
家屋ノ損傷 全戸數二、七五〇戸中全潰戸數六三〇戸、半潰戸數一、五〇〇戸、燒失家屋無シ、壓死者  
二〇名、倒潰方向ハ概シテ北二〇度乃至四〇度西ノモノ多シ

被害多キ區域ハ鈴木新田ニシテ羽田獵師町之ニ次キ、海岸地被害甚シキカ如シ  
鐵橋ノ破損 京濱電車穴守電車ノ鐵橋々々臺ヨリ破壞シ不通トナレリ  
土地ノ低下 鈴木新田及多摩川沿岸地方ハ水位ヨリ推察スルニ約〇・二米乃至〇・三米ハ全體ニ  
互リテ低下セルモノ、如シ  
羽田沖ノ海底ハ一米内外隆起セシ形跡アリテ海中ノ杭一米餘海面ニ突出セリ  
井水ノ變化 地震ノアリタル當時一時水濁レリト云フ  
潮位ノ變化 震災當時ノ潮位ハ平時ヨリ〇・七米内外高カリシト云フ

池上村

土地ノ龜裂 ハ僅ニ呑川上流ナル東京電燈株式會社池上變電所ノ北西ノ左岸ニ沿ヒテ生セル  
ノミ、龜裂ハ四條アリテ長サハ三五米以下ニシテ幅〇・二米内外、深サ〇・五米、方向ハ北五〇度西ニ  
シテ河岸ニ平行ナリ  
家屋ノ損傷 全戸數一、三〇〇戸中全潰戸數八戸(六棟)内住宅四戸(二棟)、半潰戸數二四戸(二三棟)寺  
物置四戸(四棟)、破損住宅五〇〇棟、非住宅三六〇棟、壓死者一名、重傷者一名  
池上村ニ於テハ本門寺附近ノ寺院内ニ損傷多キヲ見ル

場所	間口	奥行	坪數	高さ	倒潰ノ方向
下池上七八番地	二四間	一四間	一六坪	三・五米	其マ、潰ル
安壽院本堂	二	一	二	二	西方

場所	間口	奥行	坪数	高さ	倒潰ノ方向
下池上一〇四番地			一坪	二米	北方
同 一〇五番地	三間		一二	三	半潰ニシテ北ニ傾ク
同 一〇五番地		四間	三六	五	南三〇度東ニ傾ク
同 一〇七番地	六	三	二	二	南二〇度東
同 八三番地					

東京電燈株式會社池上變電所ノ煉瓦造建築物及社宅三棟七戸倒潰ス、變電所間口一四間、奥行七間、坪數九八坪、北三〇度西ニ上半部倒ル

當村ノ家屋ノ被害甚シキ區域ハ何レモ冲積平地ニシテ、地盤ノ軟弱ナルニ原因スルモノナルヘシ

塀ノ損傷 池上本門寺境内ニ於テ煉瓦塀ノ高サ二米、厚サ三五糎ノモノ長サ八米北方ニ倒潰ス、本門寺門前ノ通りノ兩側ニ石塀アリ、高サ約一・八米、厚サ三〇糎ニシテ長サ七米餘及一五米餘ノ二箇處夫々西方又ハ東方ニ崩壞ス

石燈籠、石塔ノ顛倒及變位 池上本門寺境内ニ於ケル石塔ノ顛倒及變位セルモノ次ノ如シ

總數五七 總面積(五二坪)四間、一三間

顛倒數五五 北方二五、南方二二、北一〇度西三、北四〇度東二、南一〇度東二

同境内 高祖御廟附近ノ石塔倒潰ス

銅像ノ顛倒 池上本門寺境内星亨氏ノ銅像北七〇度東ノ方向ニ倒レ首、胴、足破損シタリ、銅像ノ

# 欠

# 欠

部直徑一・六米、下部二・五米ニシテ下部ハ煉瓦造ノ臺ヨリ成ル、挫折箇處ハ下ヨリ約三分ノ一ノ處ニシテ南五〇度東ノ方向ニ倒レ蒸氣室ノ一部ヲ破壊ス  
鳥居ノ破損 矢口村八幡神社ノ花崗岩ヨリ成ル鳥居破損ス、其高サハ三米、柱ノ太サ直徑〇・二五米ニシテ兩柱ヲ殘スノミ  
井水ノ變化 矢口村大字下丸子ニ於テハ掘井ノ破損セルモノ多ク其當時ハ井戸ヨリ泥水ヲ湧出シタリト云フ其後全ク水量減退シ全ク使用ニ堪ヘサルニ至レリ、當地ノ井戸ハ深サ約五米内外ニシテ地層ハ上部ニ礫層、中部以下ハ砂礫層ヨリ成ル、震災ニヨリテ井戸ノ底部ハ龜裂ヲ生シ潰レシ爲メ使用ニ堪ヘサルニ至レリ、下丸子ニ於テ一一個中七個、河原ニ於テハ一〇個全部破損シ使用不可能トナレリ  
土地ノ低下 本村ノ多摩川沿岸地域ハ概ネ〇・三米乃至〇・五米低下セルモノ、如シ(主トシテ新堤ヨリ河岸ノ間)

## 調 布 村

家屋ノ損傷 光明寺本堂倒潰セルノミ  
半倒潰ニ屬スルモノハ一五棟アリ(門、寺、納屋)  
土藏ハ壁ニ龜裂ヲ生セシモノ多ク殆ント外壁ノ落ちタルモノアリ  
井水ニハ變化ナカリシト云フ

玉川村

土地ノ龜裂ハ玉川上水道ノ岸ニ於テ六箇處ニ生シ何レモ河中ニ崩レ落チタルモノ多ク、其爲メ電柱ノ倒壞セルモノ二本アリ

家屋ノ損傷 全潰七棟、半潰一五棟、傷者六名

井水ハ一時減水シタルモ後數日ニシテ元ニ復セリト云フ

駒澤村

家屋ノ損傷 全潰一棟、半潰七棟、死者二名男一、女一、重傷者一名

碑金村

家屋ノ損傷 全潰三五棟(住宅二棟、物置土藏二〇棟、社寺二棟、門一、學校一棟)、半潰三四棟(住宅一〇棟、物置、土藏二二棟、社寺、二棟)

世田ヶ谷村

家屋ノ損傷 全潰住宅六棟(六戸)、非住宅一二棟、計一八棟、半潰六二棟

橋ノ破損セシモノニアリ

井水ハ一時濁リタリト云フ

松澤村

家屋ノ損傷 全潰四棟(病院三棟、土藏一棟)、半潰二棟(土藏)

道路ノ破損セシモノ三箇處アリ

井水ハ一時濁リタリト云フ

北多摩郡

砧村

土地ノ龜裂及崩壞 堤ノ破損ハ宇奈根ノ南部一箇處延長約二〇〇米、道路ノ破損ハ喜多見ニ於テ約九〇米ナリ

家屋ノ損傷 全潰四棟四戸(住宅三棟、土藏一棟)、半潰四三棟(住宅四棟、土藏其他三九棟)、死傷者無シ

橋ノ破損セシモノ二箇處アリ

井水ハ一時濁リタルモ清澄トナレリ

地盤ハ多摩川沿岸ノ外ハ洪積臺地ニシテ軟弱ナルニアラサレトモ建物ノ古キ爲ニ全潰四棟ヲ出セリ

狛江村

土地ノ龜裂ハ多摩川沿岸ノ堤上ニ僅ニ存在スルニ過キス



家屋ノ倒潰無シ、半潰ニ漸シタルモノ一三棟アリ  
井水ハ一時的ニ濁リタルモ數日ニシテ清澄ニナレリト云フ

### 調布町

土地ノ龜裂及崩壞 府道二箇處延長二、七〇〇米、町道四箇處延長三、〇〇〇米、堤ノ龜裂延長六五〇米ナリ  
家屋ノ損傷其他 全潰住宅七棟、非住宅一五棟、半潰住宅一棟、非住宅一二三棟ナリ

### 多摩村

土地ノ龜裂及崩壞 道路一三〇米破損シ道ニ沿ヒテ龜裂アリ、堤ハ六箇處破損シ延長二五〇米ニ達ス、橋ハ六箇處破損アリ  
家屋ノ損傷 全潰住宅三棟、倉庫其他三棟、納屋一五棟、半潰住宅一五棟、倉庫其他二〇棟、納屋四〇棟ナリ  
井水ハ濁リタルモ數日後ハ澄メリト云フ

### 千歳村

家屋ノ損傷 全潰住宅九棟、倉庫一一棟、納屋四九棟、半潰住宅九〇棟、倉庫一二九棟、社寺二棟、納屋六〇棟

道路ノ損傷 村道五箇處六〇米、國道四箇處三〇米、村道四箇處一二米、堤防三箇處二五〇米

### 三鷹村

被害無シ

### 府中町

土地ノ龜裂 道路二箇處延長一〇〇米破損ス  
家屋ノ損傷 全潰住宅三棟、倉庫二七棟、神社及寺三棟、納屋一五棟、計四八棟、半潰住宅五一棟、倉庫一七九棟、納屋五〇棟、計二八〇棟

### 西府村

家屋ノ損傷 全潰住宅四棟、倉庫一四棟、納屋八棟、計二六棟、半潰住宅四棟、倉庫一〇棟、神社及寺一棟、納屋八棟、計二三棟

### 立川村

家屋ノ損傷 全潰家屋五棟、倉庫二棟、納屋三棟、半潰無シ、死傷者無シ  
道路ハ三箇處延長三五〇米破損ス  
尚北多摩郡小金井、武藏野、國分寺、谷保及神代ノ各村ニ於ケル家屋ノ被害ハ別表ノ如シ

## 豊多摩郡

### 淀橋町

家屋ノ損傷 全潰家屋住宅三八戸、倉庫七棟、神社一棟、半潰家屋住宅五一戸、倉庫一二棟、死者七名、傷者三七名、全焼家屋四四戸、半焼二戸

### 代々幡町

家屋ノ損傷 全潰家屋九五棟二三一戸、半潰家屋四五戸、死者七名、傷者六二名  
大字富谷ニ於テハ全潰棟數四七ニ達シ被害最モ大ナリ

### 和田堀之内村

家屋ノ損傷 全潰家屋一〇棟(和田四棟、堀之内三棟、和泉三棟)、半潰家屋二〇棟  
橋ハ三箇處破損ス

豊多摩郡中野町及高井戸村ニ於ケル家屋ノ被害ハ別表ノ如シ

### 一 土地ノ龜裂

本區域ニ於テ土地ノ龜裂ハ海岸ノ埋立地タル大森海岸、羽田海岸及多摩川並ニ目黒川沿岸ノ沖積平地ニ於テノミ目撃セラル、就中其最モ著シキハ大森町海岸、羽田町、六郷村ノ南部、矢口村南部等ナリ

龜裂ハ一般ニ海岸或ハ河岸ニ沿ヒテ平行ニ生セルヲ普通トシ方向ハ種々アルモ多摩川沿岸地ニ於テハ南北、東西、北西、北東ノ方向ニ走ルモノ多キカ如シ、大森海岸ニ於テハ南北、北西ニ走ルモノ最モ多シ  
其長サハ五米乃至二〇〇米、幅〇一米乃至一米、深サ〇二米乃至一三米ナリ、海岸及河岸ニ生セルモノハ往々海又ハ河ニ崩落シタルモノアリテ其落差〇二米乃至〇三米ニ及フ、地域内部ニ生セルモノニ於テハ概シテ落差ナキモノ多シ

### 二 土地ノ崩壊

土地ノ崩壊シタルモノハ甚タ少ク其著シキモノハ大井町關原一、二、三、四番地附近ナリ、崩壊箇處ハ二箇處アリテ龜裂南北ニ生シ西方ニ崩レタルモノ(一、二、三番地)及龜裂東西ニ生シ南方ニ崩壊セルモノ(是ナリ)大井町ノ土地崩壊ノ項參照、其西方ニ崩レタルモノハ其長サ四〇米、幅七米、高サ六米ノ區域ニシテ其上ニ建テラレシ建物三棟半潰ニ瀕セリ  
次ニ一、一、九、四番地附近ハ龜裂東西ニ入り南方ニ崩レタル區域ニシテ長サ八〇米、幅八米、高サ四米ニシテ二段乃至三段ニ崩レ落差約三米ニ及フモノアリテ建築物ノ破壊セルモノ七戸ニ及ヘリ、地質ハ墟母層ニシテ軟弱ナルモノナリ

### 四 堤ノ崩壊

多摩川沿岸六郷鐵橋ノ北部ニ築カレタル新堤上ニ八條乃至一一條ノ龜裂生シ中央ノ最高部ハ

陥没ス(第一版参照)

龜裂ハ最長一八〇米、幅一二米、深サ二・五米ニ及ヒ中央部ハ二・八米餘陥没ス、本堤ハ大正十二年四月頃築カレシモノナリ  
羽田町鈴木新田穴守稻荷ノ北方ノ堤約八〇米餘破壊シ石垣ハ海中ニ崩レタリ  
大森町ノ海岸ノ埋立地ノ堤ハ「コンクリート」造ナリシカ龜裂ヲ生シ處々崩壊シタル處アリ

五 建築物ノ被害

本區域ニ於テハ建築物ハ木造最モ多ク稀ニ煉瓦造ノモノアリ、煉瓦造建物ハ主トシテ工場ニ多ク其構造モ完全ナラサル爲ニ被害ハ大ナリシカ如シ、木造建築物ハ構造ノ粗雑ナルモノ及古キモノ(二十年以上)ノ被害多ク、構造粗ナルモノ「トタン」葺屋根ノモノハ比較的被害輕少ナリシカ如シ、其被害ノ甚シキ區域ハ品川灣ニ近ク接シタル地域(東部區域)及沖積地ノ區域ナリ、代々幡町ノ富谷、深町、入新井町ノ新井宿、馬込村谷中、羽田町ノ穴守等其被害ノ最モ甚シキ區域ニシテ建築物ハ平家或ハ二階建ノ瓦葺建物多ク年齡モ新シキモノ多シ(新開地多ク建築物ハ最近ノ建築ニ係カル)構造モ亦必スシモ粗悪ナルモノニアラス、然ルニ倒潰家屋ノ率六割乃至七割ニ達スルモノアルハ此レ地層沖積地或ハ埋立地ニシテ地盤ノ軟弱ナルニ原因ス  
次ニ甲州街道沿線其他ノ區域ニ於テ(高臺區域)建築物ノ被害可成多シ、而シテ其建築物ハ年齡三十年以上ノ古キモノナルカ或ハ土藏(石造)ノモノアリニシテ何レモ耐震的ナラサル建築物ナリ、即チ高臺地方ニ於テ被害アルハ建築物ノ耐震的ナラサリシニ原因セルモノニシテ海岸地方埋

立地或ハ沖積地區域ニ於ケルモノトハ自ラ其趣ヲ異ニスルモノナリ  
倒潰方向ハ南方、北方、北一〇度乃至四五度、西、北二〇度、東ノモノ多キヲ見ル  
各町村ニ於ケル家屋ノ被害、死傷等次表ノ如シ  
荏原郡

町村名	全潰家屋	半潰家屋	焼失家屋	死者	傷者	町村名	全潰家屋	半潰家屋	焼失家屋	死者	傷者
大崎町	六六	八四	二八	一	一	池上村	六	二	一	一	一
品川町	七二	一四六	五二	五	二	六郷村	八	二	一	一	一
大井町	二九	二三八	一	一	二	矢口村	一	一	一	一	一
大森町	二六	六一	一	一	一	調布村	一	一	一	一	一
蒲田町	一八	七三	一	一	一	玉川村	一	一	一	一	一
入新井町	一一	八八	一	一	一	駒澤村	一	一	一	一	一
羽田町	一一	三三	一	一	一	世田ヶ谷村	一	一	一	一	一
平塚町	三	四一	一	一	一	松澤村	一	一	一	一	一
馬込村	一〇	二〇	一	一	一						

豊多摩郡

町村名	全潰家屋	半潰家屋	焼失家屋	死者	傷者	町村名	全潰家屋	半潰家屋	焼失家屋	死者	傷者
代々幡町	九九	一	一	七	六	和田堀之内村	一〇	二	一	一	一
中野町	一四	一	一	一	一	高井戸村	六	二	一	一	一
澁橋町	四六	六三	二	七	三						

町村名	全潰家屋	半潰家屋	焼失家屋	死者	傷者	町村名	全潰家屋	半潰家屋	焼失家屋	死者	傷者
碓氷村	四	四				立川村	二	三			
粕江村						西府村	二	三			
多摩村	二	七				國分寺村	四				
調布町	二	二				武藏野村		一			
三鷹村						小金井村	一				
神代村	五	三				谷保村	六	二			
千歳村	六	九									

六 煙突ノ破損

煙突ノ破損セシモノニ三種類アリ

種	類	總發生シタルモノ	挫折シタルモノ	場	所	形	狀
鐵板	裂			矢口村鐵道省矢口發電所		圓筒形	
煉瓦	造	五		品川町、大崎町、大井町等	工場	角形多シ	
鐵筋「コンクリート」造				大井町東京毛織大井工場	工場	圓筒形	

挫折箇處ハ中部或ハ下部ノ三分ノ一内外、顛倒方向ハ概シテ北二〇度乃至五〇度西ナルモノ多シ

七 石塀ノ破損

石塀ノ多クハ大谷石、伊豆石、安山岩ヲ用キ其構造完全ナラサリシカ爲ニ今回ノ震災ニ際シ其被害多カリシモノナリ、本區域ニ於ケル普通ノ石垣ハ石材ヲ一側宛積重ネタルモノニシテ其高サ二米乃至二五米ニ達シ石材ノ接合ニハ「モルタル」ヲ使用ス、石塀用石材ノ大サ二〇厘角乃至二五厘角、長サハ普通七〇厘内外ニシテ石塀ノ長サ及厚サニ比較シテ其高サノ大ナルモノハ亦多ク倒潰ヲ來セリ

本區域ニ於テ大崎町、品川町、大森町、入新井町、羽田町等ニ於テハ被害多シ

八 煉瓦塀ノ破損

煉瓦塀モ亦石塀ト同様ニ被害多カリキ、構造不完全ナル一枚積ニ至リテハ倒潰セサルモノナキ有様ナリ

九 石碑ノ損傷

寺院中ニハ何レモ墓地ヲ有シ大小ノ墓石ヲ以テ充サレタリ、墓石自ラ轉倒セルモノ、或ハ臺石上ニ一〇度乃至七〇度廻轉シ位置ヲ變ヘテ危立セルモノアリ、而シテ不動ニシテ原位置ヲ保テルモノハ皆無ニシテ其全體ノ約八〇%ハ倒レタルヲ見ル

顛倒ノ方向ハ墓石ノ平面圖正四角形ナラサル限リハ必ス前方カ後方ニテ其幅廣キ方ニ向ヘリ

墓石ノ棹石ハ單ニ臺石上ニ載スルモノ或ハ棹石ノ底部ヲ少シク臺石ニ入レテ其四方ヲ「モルタル」止トセルモノ或ハ長サ二糧内外、直径一糧内外ノ鐵心ヲ入レタルモノアリ  
大崎町白金猿町最上寺境内ニ於ケルモノハ總數七三、顛倒數六二、廻轉一〇（但シ移動ヲ伴フ）顛倒及非顛倒ノ比五對一ナリ  
池上村本門寺境内ニ於ケルモノハ總數五七（總面積五二坪）顛倒五五、廻轉二、顛倒方向ハ北方或ハ南方ナリ

### 十 石燈籠ノ破損

石燈籠ハ石碑ト同シク多クハ顛倒セリ、倒レシ方向ハ南、北、北西、南東ノモノ多シ、品川町海晏寺境内ニ在ルモノハ九〇%倒壞ス、池上村本門寺境内ニアルモノモ同様ナリ

### 十一 鳥居及銅像ノ損傷

鳥居ニハ石造ノモノ普通ニシテ何レモ高サ三米内外ノモノ多ク概ネ上部ハ破損シ左右ノ兩柱ノ殘レルニ過キス、石材ハ花崗岩ヲ用キタリ  
銅像ノ破壞セルモノニ池上村本門寺境内星亨氏ノ像アリ、土臺石ハ花崗岩ニシテ大正十一年六月ノ建立ニカ、リ全體ノ高サ九三米、像ノ高サ四二米、倒壞方向ハ北七〇度東ナリ

### 十二 井水ノ變化

地震後井水ノ多クハ混濁シタレトモ概ネ一時的ニシテ數日ニシテ清澄トナレリト云フ  
矢口村大字下丸子及河原ニ於テハ掘井ハ龜裂ノ爲ニ破損シ泥水井戸ヨリ湧出シ其後水量減シ全ク使用ニ堪ヘサルニ至レルモノアリ、此附近ヲ構成セル地質ハ多摩川沿岸ノ沖積層ニシテ上部ハ礫質砂層厚サ約二米内外、及礫層厚サ四米以上ヨリ成ル、掘井ハ普通深サ五五米内外ナリ下丸子ニ於テハ十一個中七個、河原ニ於テハ一〇個全部使用ニ堪ヘサルニ至レリ

### 十三 潮位ノ變化

品川灣沿岸ニ於テハ滿潮時平日ヨリ數時間早カリシ外異狀ナカリシト云フ

### 十四 水、泥土ノ噴出

龜裂ハ埋立地及沖積地ニ多ク時ニ其龜裂ヨリ泥水及泥土ヲ噴出セシモノアリ  
大森日本特殊鋼合名會社構内ニ於テハ泥水（土混リ）ヲ湧出シ、又矢口村丸子ニ於テハ井戸及龜裂ヨリ盛ニ泥水ヲ噴出セリト云フ

### 十五 土地ノ低下

本區域ニ於テ海岸ノ埋立地區域及多摩川河口附近ノ沖積平地ニ於テハ土地低下シタル證據アリ  
大森町日本特殊鋼合名會社及東京瓦斯會社大森工場ノ一部分ハ二〇糧乃至五〇糧沈下セルモ

ノ、如シ、前者ハ總面積二萬坪餘アリテ(埋立地)滿潮時ノ潮位及水道鐵管ノ破損狀態ヨリ察スルニ少クモ三〇種ハ陥没セルモノ、如シ  
羽田町鈴木新田及多摩川沿岸地域ハ水位ヨリ察スルニ約三〇種ハ全體ニ互リテ沈下セルモノ  
ノ如ク羽田沖ニ於テ枕ノ一米餘突出セシハ土地ノ隆起ニ原因スルモノナルヘシ  
六郷村六郷橋ノ北岸約〇三米内外沈下セリ

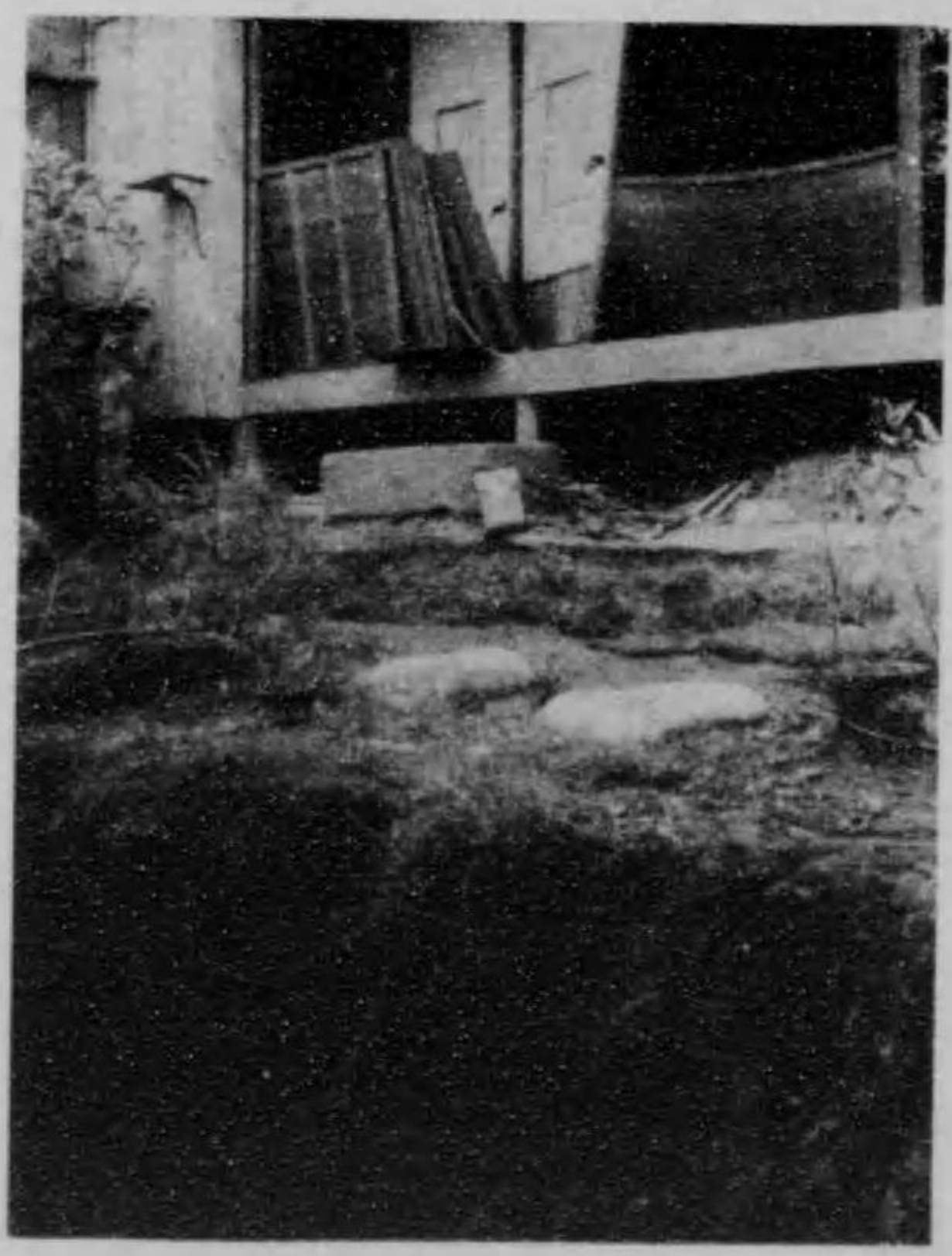
# 欠

第 一 圖



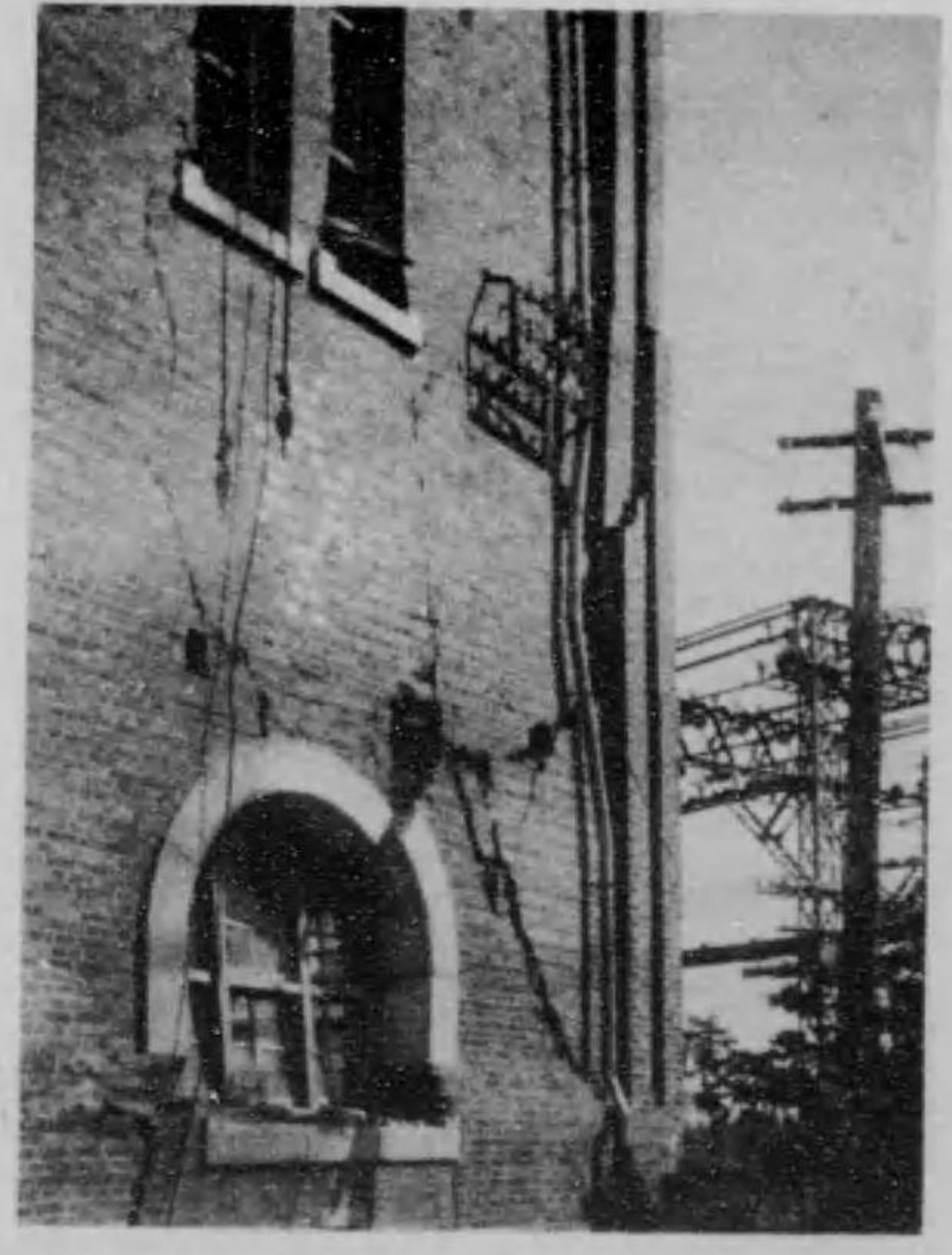
大崎町白金最上寺境内ノ塔石ノ潰倒

第 二 圖



大井町一三九番地内ノ龜裂

第 三 圖



六郷村東京電燈株式會社六郷變電所ノ壁ノ龜裂

欠

第一圖



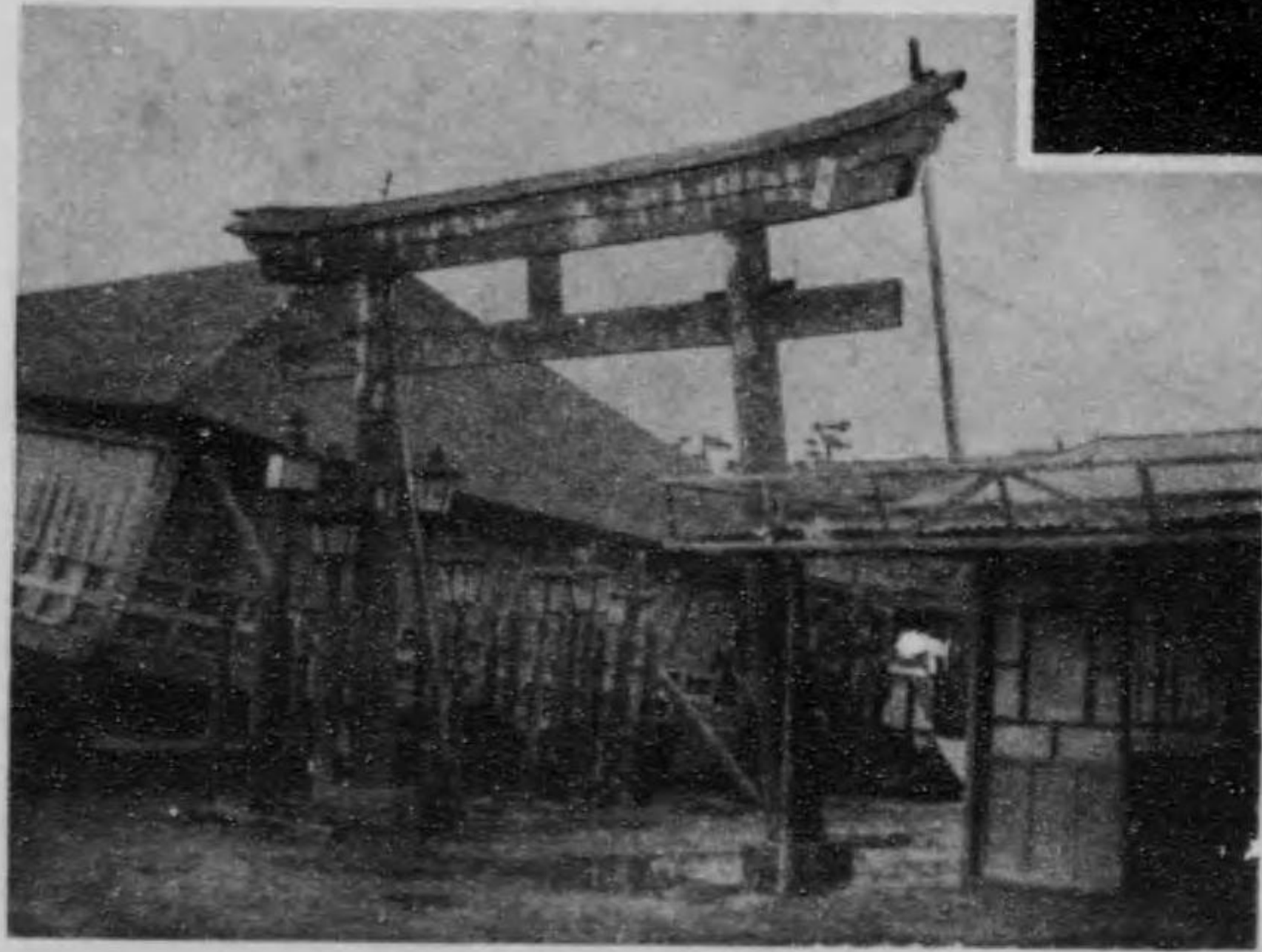
大井町一七五五番地平地家ノ倒潰

第二圖



池上東京電燈株式會社  
池上變電所ノ倒潰

第三圖



羽田町穴守稻荷附近ノ二階家ノ倒潰



大正十四年三月二十八日印刷  
大正十四年三月三十一日發行

定價金七圓貳拾錢

著作權所有 農商務省

印刷者 神谷岩次郎

東京市日本橋區兜町二番地

印刷所 東京印刷株式會社

東京市日本橋區兜町二番地

發賣所 東京印刷株式會社

東京市日本橋區兜町二番地

發賣所 丸善株式會社

東京市日本橋區通三丁目

振替口座東京五番

10/11  
3 4

14.5

130

終